



tasar

Japan Tasar Association
<http://tasarjapan.org/>

91

Tasar News
Vol. 91
April 2010



Photo by BULKHEAD magazine



<NOTICE OF RACE>
スプリングレガッタ (巻末)

<REGATTA REPORTS>
テザー級世界選手権
2009年度レース総集編

メジャー通信
フリート便り
編集後記

2010 年度イベントスケジュール

日本テザー協会 年次総会議事録
ワールドテザーカウンシル議事録

<NEWS! >

理事メンバー交代のお知らせ
JSAF 優秀競技者賞 表彰式

決定! TASAR SAILOR
OF THE YEAR 2009



CONTENTS



Photo by Sumiko Ishimaru

「手」

日本テニサー協会
会長 本吉讓治

顔はその人の人生を映す鏡だと言われるが、手にもその人の経験、来たりし道が表れるように思う。若い頃は自分の貧弱でか細い手が恥ずかしくて、父親世代の男達の大きくて節くれだった手にあこがれたものである。力強くたくましい手は私にとって男らしさの象徴でもあった。

ヨット部に入部した頃の頃、慣れないジブシートを引く手はマメだらけとなった。数えてみると両手のひらに14個もできていた。ほとんどのマメは潰れてしまい、風呂に浸かると跳び上がるほど痛かった事を思い出す。やがてマメは硬い角質となりその後マメが出来ることはなくなった。ヨットを続けたおかげで手は大きくなり握力も増えて、なんとなく大人の仲間入りが出来たような気になったものである。そのうち華奢な手に対するコンプレックスは消えてしまった。

バンクーバーで開催された冬季オリンピックが先日拍手と歓声に包まれて閉幕

した。中でも注目を集めたフィギュアスケートで、その頂点に立ったのはライサチェクとキムヨナだった。二人のチャンピオンの優雅で流れるような演技が印象的だったが、とりわけしなやかな手の動きは素晴らしい。大会に向けて周到に準備してきたものの全て、全身全霊が彼らの手に凝縮され、それが演技となってテレビ観戦していた私達にも伝わってきた。手が口ほどに物を言ったようだ。

ところで街中や電車内で見かける若い男子達の手指が小さくて細くなったなあと感じるのだけれど、コンピューター、テレビ、塾通いなどに時間を取られて、小さい時から室内で過ごす時間が増えているせいなのだろうか。最近よく言われる草食系男子に通じる流れなのかもしれないが、若者たちには太陽の下でもっともっと体を使って汗を流す時間を大切にしてほしいと思う。

一方で学生時代のヨット部の同期の連中とよく会うのだが、定年後も新たな職場でリー

ダーとして活躍する者、早期退職をして起業する者、資格を取って開業する者など様々だが、海、山に出かけるなどアラ還世代は皆元気だ。

30台半ばでサラリーマン生活にピリオドを打って以来組織とは無縁でやってきた私は、自分の決断次第でいつでもリタイア生活に突入可能だ。ヨットで世界の海を旅して見知らぬ土地を訪ねる事が若い頃からの夢だった。そのためにも体を鍛えておかなければいけないと常々思っている。ところが最近海に出る機会が減ったせいか手が小さくなってきたように感じる。訪れた土地で出会った人々と握手を交わした時に、それまでお互いが通って来た道のりが相手の手を通して伝わってくるような、そんな旅がしてみたい。

我が手よ、その時が来るまで絶対に小さくなるんじゃない。

Events

イベント情報

イベントに関するお問い合わせ

JTA イベント担当 久礼まで
mail: event@tasarjapan.org



イベントスケジュール

2010年度の協会公式イベントは以下のとおりです。奮ってご参加ください。

- ・04/24(土)～25(日) スプリングレガッタ (葉山)
- ・07/11(日) 西日本 (芦屋)
- ・08/28(土)～29(日) ミッドサマーレガッタ (猪苗代)
- ・9月～11月 オータムレガッタ (江ノ島)
- ・11/20(土)～21(日) 全日本選手権 (浜名湖)
- ・2011年2月 ミッドウィンターレガッタ (稲毛)

上記レース以外の追加イベント・レースも計画中です。

(和歌山でのメモリアルレース、練習会等)

2010年度の「Tasar sailor of the year」の皆勤賞の条件は、上記イベントへの参加とします。(イベントの追加時にこの条件は変更される可能性があります。)

佐藤・村岸組、JSAF 優秀競技者賞受賞!

2009年9月に和歌山でおこなわれたテザー級世界選手権大会に於いて、日本人選手最高位の3位入賞を果たした佐藤浩章・村岸恭明組(2862 江ノ島フリート)が、日本セーリング連盟の優秀競技者賞を受賞しました。3月14日の表彰式にてJSAF 山崎会長から表彰状を授与されました。

また、主催団体として世界選手権を成功裏に終えたことに対し、日本テザー協会代表本吉会長、和歌山セーリング連

盟会長山下大輔氏、NPO 法人和歌山セーリングクラブ代表鈴木國夫氏に感謝状が贈られました。

佐藤さん、村岸さんおめでとうございます!(P14に佐藤さん、村岸さんのレポートを掲載しました)

News!

ニュース



右から、村岸さん、JTA 山本新会長、JSAF 山崎会長、佐藤さん



パフォーマンスセイルクラフト大谷さんと

TASAR SAILOR OF THE YEAR 2009 は田中郁也・紀子夫妻に決定!

2004年度より制定され、今年度で6回目となる「TASAR SAILOR OF THE YEAR」制度は、年間を通じて日本テザー協会の公式レースに於いて最も優秀な成績を収め、かつ最も協会イベントに貢献した協会員に対して、その功績を称え贈呈されるものです。

2009年度の最優秀選手賞「TASAR SAILOR OF THE YEAR」は、稲毛フリートの田中郁也・紀子夫妻に決定しました。おめでとうございます!尚、昨年度の皆勤賞は該当者がありませんでした。「TASAR SAILOR OF THE YEAR 2009」の表彰は、スプリングレガッタのパーティーでおこなう予定です。

TASAR SAILOR OF THE YEAR 2009

2009 TASAR SAILOR OF THE YEAR				スプリング					春練習会					西日本選手権					ミッドサマー					ワールド/全日本					オータム					ミッドウィンター					RP	TP	
順位	NAME	FLEET /水域	JTA R数	参加艇数 33 艇					参加艇数 10 艇					参加艇数 31 艇					参加艇数 10 艇					参加艇数 78 艇					参加艇数 艇					参加艇数 19 艇							
				RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP	RR	RP	CP	VP	TP			
1	田中 紀子	稲毛	5	2	32	0	1	33	5	8	0	1	9	2	30	0	3	33		0	0	0	0	4	75	8	3	86	0	0	0	0	0	1	19	2	0	21	164	182	
1	田中 郁也	稲毛	5	2	32	0	1	33	5	8	0	1	9	2	30	0	3	33		0	0	0	0	4	75	8	3	86	0	0	0	0	0	1	19	2	0	21	164	182	
3	佐藤 浩章	江ノ島	5	1	33	0	1	34	5	8	0	0	8		0	0	0	0		0	0	0	0	3	76	8	3	87	1	16	0	0	16	3	17	0	1	18	150	163	
3	村岸 恭明	江ノ島	5	1	33	0	1	34	5	8	0	0	8		0	0	0	0		0	0	0	0	3	76	8	3	87	1	16	0	0	16	3	17	0	1	18	150	163	
5	野嶋 嘉昭	葉山	5	3	31	0	0	31	5	8	0	1	9	3	29	0	3	32		0	0	0	0	28	51	8	3	62	1	16	0	1	17		0	0	0	0	135	151	
6	山村 太郎	稲毛	5	9	25	0	1	26		0	0	0	0		0	0	0	0		3	8	0	2	10	12	67	8	3	78	1	16	0	1	17	5	15	2	0	17	131	148
6	軽部 香	稲毛	5	5	29	0	1	30	5	8	0	1	9		0	0	0	0		0	0	0	0	13	66	8	3	77	1	16	0	1	17		0	15	0	15	119	148	
8	井上 敦	稲毛	6	8	26	0	1	27	5	8	0	1	9	12	20	0	3	23		0	0	0	0	24	55	8	3	66	1	16	0	1	17	18	2	2	0	4	127	146	
8	亀山 寛達	稲毛	6	8	26	0	1	27	5	8	0	1	9	12	20	0	3	23		0	0	0	0	24	55	8	3	66	1	16	0	1	17	18	2	2	0	4	127	146	
10	山本 晴之	葉山	5	10	24	0	0	24		0	0	0	0	4	28	0	3	31		0	0	0	0	27	52	8	3	63	1	16	0	1	17	12	8	0	1	9	128	144	
11	宮下 知之	葉山	4	3	31	3	0	34	5	8	0	1	9	3	29	0	3	32		0	0	0	0	28	51	8	3	62		0	0	0	0		0	0	0	0	119	137	
12	小松 充	葉山	3	4	30	0	0	30		0	0	0	0		0	0	0	0		1	10	1	2	13	6	73	8	3	84		0	0	0	0		0	0	0	0	113	127
13	河野 克望	大阪北港	3	17	17	0	3	20		0	0	0	0	7	25	0	1	26		0	0	0	0	10	69	8	1	78		0	0	0	0		0	0	0	0	111	124	
14	野口 優	江ノ島	5	7	27	0	1	28	5	8	0	0	8		0	0	0	0		0	0	0	0	31	48	8	3	59		0	16	0	16	13	7	0	1	8	90	119	
14	杉田 智宏	江ノ島	5	7	27	0	1	28	5	8	0	0	8		0	0	0	0		0	0	0	0	31	48	8	3	59		0	16	0	16	13	7	0	1	8	90	119	
14	戸室 宣房	野比	5	18	16	0	1	17		0	0	0	0		0	0	0	0		5	6	0	2	8	32	47	8	3	58	1	16	0	1	17	2	18	0	1	19	103	119
17	蜂須賀 弘美	琵琶湖	3		0	0	0	0		0	0	0	0	19	13	0	1	14		0	0	0	0	11	68	8	1	77		0	0	0	0	4	16	0	3	19	97	110	
18	田口 裕介	葉山	5	13	21	0	0	21		0	0	0	0	24	8	0	3	11		0	0	0	0	46	33	8	3	44	1	16	0	1	17	9	11	0	1	12	89	105	
19	中西 英貴	芦屋	4	12	22	0	3	25		0	0	0	0	16	16	0	0	16		0	0	0	0	44	35	8	1	44	1	16	0	3	19		0	0	0	0	89	104	
20	小沢 拓身	琵琶湖	2		0	0	0	0		0	0	0	0	1	31	0	1	32		0	0	0	0	17	62	8	1	71		0	0	0	0		0	0	0	0	93	103	
21	阪間 俊文	江ノ島	2		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	9	70	8	3	81		0	16	0	16		0	0	0	0	70	97	
22	蜂須賀 強	浜名湖	4	14	20	0	2	22		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	40	39	8	2	49	1	16	0	2	18	17	3	0	2	5	78	94	
23	渡辺 克充	芦屋	4	25	9	0	3	12		0	0	0	0	20	12	3	0	15		0	0	0	0	41	38	8	1	47	1	16	0	3	19		0	0	0	0	75	93	
23	仲野 照美	芦屋	2		0	0	0	0		0	0	0	0	8	24	0	0	24		0	0	0	0	19	60	8	1	69		0	0	0	0		0	0	0	0	84	93	
25	植田 泰平	芦屋	2		0	0	0	0		0	0	0	0	9	23	0	0	23		0	0	0	0	22	57	8	1	66		0	0	0	0		0	0	0	0	80	89	
26	安澤 厚男	芦屋	2		0	0	0	0		0	0	0	0	5	27	3	0	30		0	0	0	0	30	49	8	1	58		0	0	0	0		0	0	0	0	76	88	
27	石塚 恒志	浜名湖	4	16	18	0	2	20	5	8	0	2	10	11	21	0	2	23		0	0	0	0	57	22	8	2	32		0	0	0	0		0	0	0	0	69	85	
28	岡 誠	葉山	3	21	13	3	0	16		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0		0	62	3	65		0	0	0	0	18	2	0	1	3	15	84	
29	多田 幸男	大阪北港	2		0	0	0	0		0	0	0	0	13	19	0	1	20		0	0	0	0	25	54	8	1	63		0	0	0	0		0	0	0	0	73	83	
30	秋山 紀夫	琵琶湖	1		0	0	0	0		0	0	0	0	10	22	0	1	0		0	0	0	0	7	72	8	1	81		0	0	0	0		0	0	0	0	94	81	
31	三輪 記裕	大阪北港	2		0	0	0	0		0	0	0	0	26	6	0	1	7		0	0	0	0	15	64	8	1	73		0	0	0	0		0	0	0	0	70	80	
32	秋吉 寿美子	大阪北港	3	28	6	0	3	9		0	0	0	0	17	15	0	1	16		0	0	0	0	35	44	8	1	53		0	0	0	0		0	0	0	0	65	78	
32	池田 俊則	大阪北港	3	28	6	0	3	9		0	0	0	0	17	15	0	1	16		0	0	0	0	35	44	8	1	53		0	0	0	0		0	0	0	0	65	78	
32	高松 慎吾	葉山	3	20	14	0	0	14		0	0	0	0		0	0	0	0		6	5	0	2	7	33	46	8	3	57		0	0	0	0		0	0	0	0	65	78
35	長野 国比古	琵琶湖	1		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	11	68	8	1	77		0	0	0	0		0	0	0	0	68	77	
36	久礼 嘉伸	葉山	4	19	15	0	0	15		0	0	0	0		0	0	0	0		4	7	1	2	10	47	32	8	3	43		0	0	0	0	14	6	0	1	7	60	75
37	大谷 たかを	江ノ島	2		0	0	0	0		0	8	0	8		0	0	0	0		0	0	0	0		0	62	3	65		0	0	0	0		0	0	0	0	0	73	
38	関口 真秀	江ノ島	4		0	0	0	0		0	0	0	0	22	10	0	3	13		0	0	0	0	62	17	8	3	28	1	16	0	0	16	6	14	0	1	15	57	72	
39	石川 光輝	大阪北港	2		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	36																	

新・理事会メンバー決定

日本テザー協会理事の任期満了に伴い、新しい理事会が発足しました。2009年度の年次会員総会に於いて選任された山本晴之新会長をはじめ、新理事の皆さんは以下のとおりです。

日本テザー協会 理事会

会長	山本晴之	(葉山)
副会長	田中郁也	(稲毛)
会計	井上敦	(稲毛)
国内事務局(東日本担当)	小松充	(葉山)
国内事務局(西日本担当)	渡辺克充	(芦屋)
メジャー	宮下知之	(葉山)
イベント委員長(レース)	久礼嘉伸	(葉山)
レース 広報他	田口裕介	(葉山)
江の島担当	村尾隆	(江の島)
国際事務局	石川洋二	(葉山)

任期2年(2012年3月末まで)



3/20 新旧交代理事会(フリートキャプテン・オブザーパー含む)
前列左から:田中(紀)、井上、軽部、山本、本吉、石丸、村尾
後列:田中(郁)、亀山、宮下、田口、野口、石川、久礼

任期を終えるにあたって

急速な低気圧の通過で各地に南風が吹き荒れた3月20日、都内において新旧理事会の引継ぎ会議が開催されました。ご承知のとおり旧理事会は和歌山ワールドを中心に活動してきたわけですが、その準備作業は世界同時不況のなかで本当に試練の連続でした。とりわけリーマンショックに端を発した金融危機により、順調に話を進めていたスポンサー企業の目処は立たなくなる一方で、大会エントリーの開始直前に襲った急激な円高は、海外からの参加者の出鼻を挫く格好となりました。更に加えてワールドとほぼ同時期にシドニーでワールドマスターゲーム(WMG)が開催されることが、前年になって発表されました。この時点ではワールド開催延期ということも頭をよぎりました。

そうした逆境の中で、協会員はもとより地元和歌山、JSAFをはじめ関係各方面のご支援により成功裏に大会を終えることが出来ました。WMGに90艇ほどが出場したオーストラリアからの参加艇数は当

初の予想に比べて大幅に減少したものの、国内の参加数はほぼ予定通りの規模となりました。他のクラスからの参加も多くみられ、セーリング界においてテザークラスの認識が確実に高まっていることを実感しました。また特筆すべきことはチャーターボートの提供も含めて関西各フリートからの参加率が極めて高かったことです。和歌山大会が目指すものとして真っ先に掲げた「関西フリートの活性化」という大きな目標を達成できたのではないかと思います。

JTA会長として私自身の力不足にもかかわらず、理事会メンバーの支えによって、無事に新理事会にバトンタッチをすることができました。素晴らしい仲間と共に仕事ができたことを心から嬉しく思います。未解決の課題もいくつか残されていますが、新理事会が良い方向性を導き出してくれるものと期待しております。

会長在任中にご指導、ご支援いただいた皆様には本紙面を借りて御礼申し上げます。

2010年3月24日
本吉 謙治

テザー和歌山ワールドを終えて

渉外担当 安澤厚男(芦屋)

渉外担当理事として和歌山ワールドの最後の業務。和歌山ワールドの大会運営などで大変お世話になった和歌山県セーリング連盟と和歌山セーリングクラブ、及びイベント協力・観覧船・クラブハウスの提供等いただいた和歌山マリナーシティヨット倶楽部などに、昨年12月、本吉会長と一緒にお礼の挨拶に行っていました。ワールドのお礼と感謝をこめて、広報の石丸さんが制作された、和歌山の山と紀三井寺をバックに一斉にスタートするシーンの額入りの写真と、私(安澤)が製作したテザーハーフモデルの楯を山本理事長・鈴木國夫氏に贈呈いたしました。山本理事長からは、最終レースを終え海上運営パレードで帰着すると、参加選手たちに感謝の拍手で迎えられることは、今までの苦労が全て吹っ飛び 大変感激したとのこと



とでした。和歌山ワールドメモリアルレースを開催しては？とのこと言葉もいただきました。是非とも開催したいものです。

その後 和歌山マリナーシティヨット倶楽部の忘年会にご招待いただきました。その席で本吉会長から和歌山ワールドのお礼を申しあげたら、テザーセーラーや和歌山セーリングセンターの皆さんと交流できた事を喜んでおられました。特に海外選手のホームステイを受け入れてくださったご家族の皆さんには、国際交流で大変良い経験が出来たことに、逆に感謝の言葉を頂きました。和歌山のセーラーたちもテザーに大変関心をもっており、今後、ますます交流を深め、またレースで再会することを約束し、山本理事長・鈴木國夫氏・WSC中村さんのご主人とたたくた〜く握手をして和歌山を後にしました。

これで渉外担当理事としての和歌山ワールドの業務が終わりました。参加選手及び大会をお手伝いいただいた皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

テザーワールド・インプレッション

事務局 亀山 寛達（稲毛）

今回のワールド実行委員会は、途中経過でいろいろと変更はあったものの、最終的には以下のような役割分担で取り組みました。（敬称略）

- 大会委員長： 本吉会長
全体調整、重要局面での判断
- レース企画： 久礼 with 葉山フリート
レース公示・帆走指示書作成、海上運営対応、審判団対応、GPS 対応
- 計測： 宮下 with 計測委員、小沢
事前計測、レース公示・帆走指示書チェック、当日計測、メジャー会議準備
- 広報： 石丸 with 広報委員
大会ウェブサイト、ロゴ作成、プレス対応、大会パンフレット
- パーティ： 高山、各フリートキャプテン（軽部、秋吉、小川、渡辺、高橋、長谷川）
BBQ は稲毛・北港、ウェルカムは葉山・芦屋、表彰式は江ノ島・浜名湖
- 渉外： 本吉会長、安澤
各国テザー協会、和歌山セーリング連盟、和歌山セーリングクラブ（WSC）
- 会計： 野口 with 江ノ島フリート
予算管理、スポンサー募集統括、大会グッズ販売

- 宿泊・受付： 田中（紀） with 稲毛フリート、長野
選手受付対応、宿泊対応、現地案内、以外自転車、ホームステイ、デイリープレゼンテーション
- 陸上本部： 寺尾本部長 with 岡・井上（進）
陸上本部の運営
- 事務局： 亀山 with 稲毛フリート
理事会開催、チャーター艇、参加者保険、レイディツアー、陸本・WTC 準備、JSAF 窓口

事務局として心がけたのは、大きな視点では本吉会長が目指す理想像の要を外さずに、実務的な視点では現実に即した対応をすることでした。また、スタート当初の役割分担が少ない理由は「準備を進める過程で発生する追加案件への対応」という役回りなのだと解釈し、そのように行動したつもりです。加速度的に増える仕事を何とかこなせたのは、稲毛フリートメンバーやデラマンチャンの石川さん・今野さんに支えていただけたことが大きかったです。

今回のワールドは、国内参加 59 チーム（約 200 名 選手の家族を含む）海外参加 19 チーム（約 50 名 選手の家族を含む）という大規模な大会となりました。ワールド開催の3ヶ月前からは1日20～30通、1ヶ月前には1日50通以上のメールに対応するという嵐のような日々を過ごしましたが、大会が成功したという満足感が全ての苦勞を吹き飛ばしてくれました。最終日に運営を終えた運営艇が次から次へと各国の旗を掲げながら帰ってきたのを見た時の感動と感傷は、今でも忘れられません。

イベント担当挨拶

イベント委員長 久礼 嘉伸（葉山）

初めての理事就任で、日本ワールド開催年のイベント担当ということで右も左も分からない状態でしたが、小松さん他レース企画チームの皆さま、JTA 理事会の皆さま、各フリートの皆さま、凄腕の和歌山セーリングクラブの運営の皆さまにサポート頂き、無事開催することができました。本当にありがとうございます。

あと2年間継続してイベント担当を行うことになりました。テザー協会理事会はただか数名のメンバーで構成されており、各フリートの皆さまの協力がなければ、イベントのひとつも行う事ができません。

今後とも、一緒にテザー協会を盛り上げて頂ける様よろしくおねがいします！

理事退任にあたって

会計 野口優（江ノ島）

二年間は、私にとって、とても刺激的な時間でした。テザーに乗り始めた頃、現フリートキャプテン村尾さんから「次の土曜日、俺、仕事だから、テザーの会合に出席してもらえ？」という言葉に安請け合いし、参加しました。そこは「成功させよう和歌山ワールド！」と、やる気マンマンの会議でした。協会活動がどのようなかわからない状態でしたし、全てが新鮮でした。しかし今になって思えば、日本でのワールド開催年に理事として協会活動に携われたことはとても貴重なことでした。また、この素晴らしい協会活動を、選手自らが行なうテザーイズムを、多くの方に体験してもらいそして引き継いでいって欲しいと思います。

最後に、御迷惑お掛けした方々へお詫びと、ご協力して下さった方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

メジャー続投します

メジャー 宮下知之（葉山）

山本会長の下でもメジャーを続投することになりました。去年までは世界選手権できちんと計測ができることだけを考えてやっていたのですが、今年からはルールを理解と船自身の理解を目指して、やっていきたいと思っています。メジャー通信にも書きましたが、クラスルールや船のことについて、どんなことでも意見がありましたら、宮下までお知らせ下さい。それでは、2年間よろしくお願ひします。

ワールド一色の2年間でした

広報委員長 石丸寿美子（葉山）

広報担当に返り咲いてから、あっという間の2年間でした。自国でのワールド開催年に広報委員長という大役を務めることになり身の引き締まる思いでしたが、周りの多くの人の助けを借りながら、何とか乗り切ることができました。ご協力して下さった皆様に大変感謝しています。日常の協会運営はもとより、ワールドのオーガナイズも、現役の乗り手の自主運営であること。テザークラスの魅力はこれに尽きると 생각합니다。ワールドという大きなイベントをみんなの手作りでオーガナイズしたということは、すばらしい経験になりました。色々行き届かない点が多々あり反省しきりですが、2年間お世話になり、本当にどうもありがとうございました。

JTA 会員の皆様

お陰さまで、和歌山ワールドは成功裏に幕を閉じることができました。ありがとうございました。当初最も心配されていた予算面も、最終的にはJTA積み立てからの補填を130万円程度に抑えることができ、次年度以降への積み立てを210万円程度は残せることとなりました。

さて、大変申し訳ないのですが、ワールドの際に開催した総会の議決で修正しなくてはならない事由が発生しましたのでご報告申し上げます。

【修正内容】

2010年のC6の適用に関する投票結果を「選択肢2」に修正します。

選択肢1：2010年度の全てのイベントでC6を適用しない。

選択肢2：2010年度にC6を適用するイベントは、理事会の判断に任せる。

選択肢3：2010年度の全てのイベントでC6を適用する。

【修正理由】

9/25の総会では、以下のような票決を経て「選択肢1」が議決されました。

・第1回票決（修正前）

選択肢1 25（会場18 + 委任状3 + 本吉会長 & 委任状4）

選択肢2 25（会場21 + 委任4）

選択肢3 1（会場1）

同数により再度選択肢1,2で採決

・第2回票決

選択肢1 27（会場20 + 委任3 + 本吉会長 & 委任状4）

選択肢2 25（会場21 + 委任4）

しかし、その後の確認作業で委任状の中に09年度JTA会員ではない方の委任状が含まれていたことと、無記名だとカウントしていた委任状の中に委任者が記載されているものがあり、その修正によって票決結果が変更となることが判明しました。

・第1回票決（修正後）

選択肢1 24（会場18 + 委任状3 + 本吉会長 & 委任状3）

選択肢2 26（会場21 + 委任5）

選択肢3 1（会場1）

選択肢2として採決すべきだった。

第1回票決で「選択肢2」が採決されたはずであるという修正結果は、受付担当者が第1回票決に参加していなかったことや会場にいなかった本吉会長票の有効性などを勘案しても、変わりません。従いまして、JTA理事会は総会議決結果を修正すべきであるとの結論に達し、皆様にご報告申し上げる次第です。

本件に関するご質問およびご意見は、下記までお願いします。
事務局 亀山 (h-kame@mub.biglobe.ne.jp)

2009年度 テーザー協会総会議事録

日時：2009年9月25日（金） 18:30 ~ 19:30

場所：和歌山マリナーシティヨット倶楽部 クラブハウス2階
ミーティングルーム

<出席者>

会員数：84人 定足数：28人

・総会開始時

出席者数：37人

委任状数：19人 17人

（19枚の委任状のうち、2枚はJTA非会員であった）

合計：55人 総会は成立

（委任状数の修正は、総会成立に影響を与えない）

理事：安澤、久礼、野口、宮下、石丸、亀山

<議題>

1. 活動報告および公式レース主催について

・2010年度全日本選手権開催など

2. 会計報告

・2009年度見通しと2010年度予定

3. ルールの制定・改正に関するもの

・(2010年度全レースを対象とした)テザークラスルールC.6

(クルー重量)適用について

4. WTC会議およびメジャラー会議の内容報告

5. 次期JTA会長の選出について

JTA規約6.(3)

会長は、自薦または他薦が得られた会員の中から、総会での決議によって選出される。

<議事録>

【開会】安澤氏が欠席した本吉会長の代理として議長を務めることを報告。安澤理事より、開会を宣言。

【会長挨拶】 本吉会長からのメッセージを代読（亀山理事）

【活動報告および公式レース主催について】（久礼理事）

配布資料に基づいて説明

2009年度イベント：

4レガッタ実施済み、ワールド開催中

今年度実施予定のイベント：

10月 オータムレガッタ

2月 ミッドウィンターレガッタ

2010年度公式レース予定

4月 スプリングレガッタ

7月 西日本選手権

10月 オータムレガッタ

未定 全日本（10/23-24 または 11/20-21）

2月 ミッドウィンター

質問なし。2010年度公式レース予定を承認

【会計報告】（野口理事）

配布資料に基づいて説明

2008年度決算

ワールド予算

2009年度決算進捗(中間)

C：ワールド予算については前回総会時点から努力していただいた後が良く分かる内容となっており、理事に感謝したい。

拍手多数で承認

【ルールの制定・改正に関するもの】（宮下理事）

2010年度のC6の適用に関して

過去の経緯から議論は収束しないと考えて投票で決めたい

質問(Q)・回答(A)

選択肢について

Q:理事会の判断だけではなくて開催フリートの判断を尊重すべき

Q:どうしてこれらの選択肢としたのか

Q:全日本選手権だけ除外するという選択肢を追加してほしい

- A. これまでの経緯から1つ目の選択肢を用意した
世界と基準をあわせる意味から3つ目の選択肢を用意した
開催を担当するフリートと相談する観点から理事会に任せると
いうのが2つ目の選択肢である

Q:理事会の判断に任せる場合でもどのレガッタで適用するかしないかを早めに決めてほしい

A. 了解した

議決

資料に提示した3つの選択肢による票決実施について、挙手による議決 過半数により承認

C6ルール適用についての1回目の挙手による議決

票決に際し、以下の委任状(合計18)を得ていることを報告

本吉3、高橋3、安澤1、渡辺1、石丸1、田中(郁)1、白紙8

本吉会長2、高橋氏3、安澤氏1、渡辺氏1、石丸氏1、田中(郁)氏1、宮下氏1、白紙6

本吉会長からはこの票決に対して選択肢1に投票する意思を事前確認しており、選択肢1には本吉会長本人+委任状の票が加算されることを説明。

白紙委任に関しては票決の結論に賛同するものとし、選択肢には加算しないことを説明。

・第1回票決

選択肢1: 25

(会場18+委任3+本吉4) 24(会場18+委任3+本吉3)

選択肢2: 25

(会場21+委任4) 26(会場21+委任5)

選択肢3: 1

(会場1) 同数により再度選択肢1,2で採決

・第2回票決

選択肢1: 27

(会場20+委任3+本吉4) 26(会場20+委任3+本吉3)

選択肢2: 25

(会場21+委任4) 26(会場21+委任5)

2010年度はすべてのイベントでC6ルールを適用しないということと決定

【WTC会議およびメジャラー会議の内容報告】(宮下理事, 亀山理事)

・ 艦装について

多様な艦装が出てきているのでメジャラーから抗議している。
メジャラー会議で管理できないか Graham Hanna から説明してもらっている。

・ イギリスからの提案1

カーボンマスト, カーボンブーム

スパー類は長持ちするので行き渡るのに時間がかかる

・ イギリスからの提案2

フル艦装の重量に注意しないといけないのではという意見があった。今回のワールドでサンプリング調査したところ平均93kgであるとわかった。

・ RCB スライダー

ミリねじにもあわせられるように改正された。

・ 今後のワールド開催地

2011年 イギリス・トーベイ

2013年 アメリカ・ゴージ

・ 役員改選

セクレタリー Chris Parkinson (Richard Spenser 氏は引退)

チーフメジャラー Graham Hanna

プレジデント Peter Elis

・ ルール改正

クルーウェイトルールについて

北米・日本・イギリス・ヨーロッパ 停止 / 削除を支持

オーストラリア 態度未定

【次期 JTA 会長の選出について】(安澤理事)

・ 自薦および他薦の受付

山本晴之氏への他薦2名

(理事会を代表して本吉氏、DYCを代表して小松氏)

・ 次期会長候補の確定

山本氏に他薦受託の意思を確認し、本人了解。

山本氏より挨拶。山本氏以外の候補者がいないことを確認。

拍手多数により山本晴之氏の次期 JTA 会長選出を承認

【閉会】 安澤理事より、閉会を宣言。

以上

2009 World Tasar Council 報告

日時: 2009年9月22日 18:00-21:00

場所: 和歌山セーリングクラブ 旧艇庫2F会議室

出席者:

World Council Members

Gary Brandt

North America, delegate for the President, NATA

Graham Hanna

Australia, Chief Measurer

John Tripp

UK, Chair, TAUK

Richard Spencer

North America, Executive Secretary WTCA

Haruyuki Yamamoto

Japan, delegate for the President, WTCA & JTA

Observers

Sumiko Ishimaru Japan

Tomoyuki Miyashita Japan

Hiromichi Kameyama Japan

Masaru Noguchi Japan

Fumio Kaneko Japan

Takao Otani Japan

Elizabeth Kemis Australia

Tomohiro Sugita Japan

Tim Knight UK

Noriko Tanaka Japan

Yoshinobu Kure Japan

Ayumi Tani Japan

Shelley Macy North America

Constantijn Udo Europe

議事内容

本吉会長のメッセージを山本さんが代読して、WTC が始まりました。その後、各リージョン(オーストラリア、アメリカ、イギリス、ヨーロッパ)からの報告がありました。

【オーストラリア】

オーストラリアでのテザーへの注目度は今最も高まっています。インドネシアからの3回目の供給分は艇10艇で、南オーストラリアや西オーストラリアでも普及しています。2010年の全豪選手権は、クィーンズランド州のAirlie Beachで、7月3日から10日まで開催されます。温かい水で楽しめる大会は、ブーケットの大会を参考に行われ、誰でも参加可能です。

【北米】

北米では、各地でのフリート活動が低迷しています。過去2年間で定期的にフリートレースを行ったのはバンクーバーのみです。選手権への遠征参加数も減っていて、協会レースでも9艇から12艇程度の参加に留まっています。新しいメンバーが増えていないことも一因です。2013年のワールドを前にして、対策が必要です。

2013年の世界選手権開催は、Columbia Gorge Racing Association (CGRA)のサポートで、オレゴンのCascade Locks (1996年世界選手権の開催地)にて、8月9日から17日に実施することを決めました。CGRAについての詳細は www.cgra.org をご覧下さい。

【イギリス】

2007年の全英選手権はLympingtonで開催。46艇が参加し、Ben Nicholas (99年世界チャンピオン)が優勝しました。2008年の全英選手権は5月末にスコットランドで開催、40艇が参加しました。直近のレガッタもスコットランドで行われて20艇が参加。いずれも元ファイヤーボールセーラーのMalcolm Daviesが優勝しています。近年の全英選手権への参加艇数は減少していますが、スコットランドではテザー、頑張っています。

また、中古艇市場の動きも、新艇の供給も順調。元オリンピック選手や他のクラスのトップセーラーがパートナーと一緒にテザーに参入していて、レースのレベルも上がっているそうです。ウェブサイトを通じてテザーへの関心が伺える今、この勢いを利用して、セーラーを増やさなくては行けない、と感じているようです。

2011年のワールドのために、John Trippを中心としたコミティメンバーを選び、準備を開始しました。経済情勢は厳しいですが、ポンド安の今こそ、イギリスで開催される世界選手権に参加するチャンスです！ <http://www.tasar.org.uk/TAUKContacts/>

【ヨーロッパ】

Constantijn Udo氏によると、現在ドイツには10艇から15艇のテザーがあり、Signal Locker (イギリス、ヨーロッパへのテザー供給元)のサポートで活動しているそうです。2011年のワールドへの参加が期待されます。

各リージョンからの報告に引き続いて、WTCを切り盛りしているリチャード氏からExecutive Secretary's reportが紹介されました。その概要は、以下の通りです。

Executive Secretary レポート

2008年末で、WTCのメンバーは5カ国合わせて559艇を数えます。前年に比べて99艇の増加がありました。WTCの会計管理も問題はありません。ISAFとの関係も良好で、2009年も世界選手権開催の承認を取ることができました。ISAFの承認クラスとして、今後もメンバー数の維持、そして世界選手権には最低5カ国以上からの参加が求められます。WTCのウェブサイトの管理・編集は私(Richard Spencer氏)が行っていましたが、新しい感覚を取り入れたサイトとして維持管理可能な人材に作業をお願いしたいと考えています。クラスルールに関して2点、ISAFから指摘を受けましたが、今回の世界選手権はそのまま実施しました。今後、ルール改正が必要となります。

私(Richard Spencer氏)は、今回の世界選手権を限りに長年続けていたExecutive Secretaryを辞任します。それに際し、所感を

述べさせていただきます。まずは、テザークラスの将来についてですが、今まで通り先端に行く進化するクラスとして、協会とビルダーとが良い関係を維持しつつ、発展してほしいと願っています。また、クルーウェイトルール(C.6)を撤廃すべきです。C.6はクラスルールA.1.2の唯一の例外であるとした上で、「軽量クルーが遅い(=重たい)ボートに乗ることを要求すべきではない」と考えます。

最後に、Executive Secretaryを続けていく上で多大な支援をしていただいたWTCのメンバーとWTC Aの会長、ベスウェイト氏、そしてテザーそのものに感謝の意を述べたいと思います。今後も、何らかの形でこの素晴らしいクラスのお役に立ちたいと願っております。

リチャード氏からのレポートに続き、Chief Measurerのグラハム氏からのレポートも紹介されました。その内容を受けて宮下さんから以下の問題点が指摘され、重要な対応事項であると確認されました。

- ・マストの一部に短すぎるものがある。安価に対応できる方法を考えるべき。
- ・アルミ鋳造の新しいティラー強度に問題がある。改善すべき。

クラスルールC2.1とC2.2について議論され、変更提案が通りました。本件はWTCに先立って開催されたメジャー会議で詳細なやり取りがあり、WTCでその内容確認が行われました。これを受けて、C1とC2の変更は投票にかけられることになりました。

リチャード氏からのExecutive Secretary's reportの内容を受け、クルーウェイトルールに関する議論がなされました。金子さんから、日本の中にはC6ルールを廃止すべきであるという意見があること、NS14や49erクラスでは過去に存在していたクルー重量に関するルールを廃止済であることが紹介されました。北米からは、北米エリアではC6ルールを適用せずにレースを実施していることが紹介されました。議論の後、Udo氏からこのルールを2011年のワールドでは試験的に適用しない(サスペンション)ことを会員に諮ってはどうかという提案が出され、承認されました。(この提案を会員に諮るに際しては、)クラスルール変更時に用いられる通常の投票手続きが適用されることとなります。

イギリスからは、以下の提案がありました。

1) ハルウェイトだけでなく、セーリング重量を規定するべきではないか？

現行のルールでは、ベアハル重量68kgが規定されている。しかし、イギリスの古い艇はフォイル重量が今のものとずいぶん異なっており、むしろセーリング重量を規定したほうが良いと考えている。そのための調査として、ワールド期間中に何艇かのセーリング重量を測定することを提案したい。

この提案を受けて、大会期間の後半に主だった艇を丸ごと計測しました。

規定すべきセーリング重量(93kg)を設定してルール変更したいというイギリスの提案は、チーフメジャーであるGraham Hannaを中心とした小委員会でも内容を検討してからの投票となる予定です。

2) カーボンファイバーのブーム、マストを採用して欲しい。イギリスから要請について、Graham Hannaからは、現時点ではその予定はないことが伝えられました。さらに、将来的にカーボンマストを採用するとしても、2本継ぎであるべきだとしました。

久礼さんからGPS搭載可否に関するクラスルール解釈を示して欲しいという要望が出され、チーフメジャーであるGraham氏が解釈を示すこととなりました。

山本さんから「テザーの魅力は strict one design class を守り続けることで維持される」という発言がなされ、賛同を得ました。また、WTC のような場では個別議論に終始するのではなく、テザークラスの将来を語る時間も設けて欲しいという希望が出されました。

次期ワールドの案内

2011 年ワールドは、英国で 2011 年 9 月 17 ~ 23 日に開催されます。
2013 年ワールドは、北米で、2013 年 8 月 9 ~ 17 日に開催されます。

WTC メンバーの改選

下記のように、チームメジャー以外はメンバー交代します。

President - Pete Ellis, President, TAUK

(所属は英国だが在オーストラリア)

Vice President - Tony Norris, NATA

Measurer - Graham Hanna, ATC

Executive Secretary - Chris Parkinson, ATC

今期を限りに "Executive Secretary" を引退するリチャード・スペンサー氏が、満場一致で "honorary life member of the World Council" に選出されました。



また、本吉さんからはリチャード氏の長年のテザー界への貢献に対する感謝の気持ちとしてケーキと紅茶が差し入れられ、出席者もご相伴に預かりました。

WTC の内容は以下のサイトで公開されています。
<http://www.tasar.org/wtca/minutes/wcmin09.html>

文責 事務局 亀山寛達 /
Supported by 田中紀子・石川洋二

Racing

レース情報

2009 テザー級世界選手権

豪ダグラス父娘組 2度目の優勝！
佐藤浩章・村岸恭明組 3位入賞！

photo by BULKHEAD magazine

秋の大型連休・シルバーウィークにあたる 9 月 18 日 ~ 27 日の 10 日間、10 年ぶり 3 度目の日本開催となるテザー級世界選手権が、セーリング競技のナショナルトレーニングセンターに指定されている和歌山セーリングセンターに於いて開催されました。参加国はオーストラリア、イギリス、アメリカ、カナダ、オランダ、日本の 6 カ国で、79 チームが参加しました。大会期間中は天候と風に恵まれ、自然豊かな美しい和歌浦の海を舞台に、連日熱いレースが繰り広げられ、全 12 レースを実施。和歌山県セーリング連盟、和歌山セーリングクラブの素晴らしいレース運営と、和歌山オーシャンヨットクラブ、和歌山市セーリング連盟、和歌山マリーナシティーヨット倶楽部等、近隣の皆さんの心温まるホスピタリティにより、2009 年テザー級世界選手権は成功裏に終わりました。優勝は、オーストラリアのロバート・ダグラス / ニコル・ダグラスの父娘ペアで、2005 年のダーウィン大会に続いて 2 大会ぶり 2 度目の世界チャンピオンの座を射止めました。第 2 位は、日本の軽風対策として女性クルーを擁して参加した同じくオーストラリアのクレイグ・マクフィー / フィリッパ・アレパロー組、第 3 位は、2008 年に 470 級からテザーへ転向し、短期間で見事なパフォーマンスを発揮した江ノ島の佐藤浩章・村岸恭明組でした。



2009年テーザー級世界選手権 Tasar World Championship Wakayama, Japan



photo by BULKHEAD magazine



2009年ワールド・レポート

6 力国、79 チームが集結！

海外からの選手の多くも既に到着し、9月18日の午後から受付と計測、チャーターボートのドローなどがおこなわれました。和歌山は快晴で、北北西の軽風でしたが、



熱心に練習するチームもあり、ワールド本戦に向けて会場は少しでも緊張感が漂い始めました。翌19日は台風14号の影響で強風となりましたが、数艇が果敢にも出艇！

20日は午後からプラクティスレースがおこなわれました。朝は軽風でしたが、ドックアウトの頃には北寄りの強風となり、出艇を見合わせたチームや、軽いセーリングに抑えフィニッシュせずに戻ったチームも多くありました。

盛大なウェルカム・パーティー

夕方からは、和歌山マリナーシティ・ヨット倶楽部にて盛大なウェルカムパーティーがおこなわれました。日本らしく鏡開きでパーティーがスタートし、テーザー

ワールドのロゴが焼印であしらわれた枳が配られ樽酒が振舞われました。

パーティーが終わりに近付くと、大会の開会を祝うように花火が始まり、大いに盛り上がりしました。(隣のポルトヨーロッパでの花火



を見込んでパーティー日時をセッティングしたのです！)

そして迎えたレース初日は、前日と風向こそ変わり南寄りでしたが、またしても強風コンディションとなりました。2レースを順調に実施し、各チーム和歌山の波と風を満喫しました。軽量チームの多い日本人選手ですが、2レース目に浜名湖の長谷川・小沢組がトップでフィニッシュし、幸先の良いスタートとなりました。

日本チームの快進撃

2日目からは、一転して、軽風のコンディションになり、ここから日本チームの快進撃が始まりました。第3レースでは、江ノ島の佐藤・村岸組がトップフィニッシュし、2位に稲毛の田中夫妻チームが入り、続く第4

レースで、再び佐藤・村岸組がトップフィニッシュし、大阪北港の河野兄弟コンビが続きました。

この日を終えて、佐藤・村岸組が総合1位に立ちました。

レース3日目は、極端に風が落ちる場面もありましたが、レイデーの前日ということもあり、予定通り3レースを消化しました。全7レースを終えて、カットレースが1つ出たこともあり、初日の強風トラブルやブラックフラッグで失格になっていた得点が除外されたチームも多く、上位の顔ぶれが見えてきました。総合1位は佐藤・村岸組で変わらず、5ポイント差で前々回チャンピオンのロブ&ニコル・ダグラスが続き、田中夫妻組がさらに11ポイント差で追う展開となりました。レース後はハーバーヤード内にてバーベキューパーティーがおこなわれました。レイデーの前ということもあり大変な盛り上がりとなり、地元黒潮太鼓のパフォーマンスには外国人選手も大喜びでした。

レイデーは高野山へのバスツアーが催行され、世界遺産エリアの散策と精進料理のランチを楽しみました。

オーストラリア勢急浮上

5レースを残し、25日から後半戦がスタートしました。期間前半は南～西寄りの風でしたが、レース4日目のこの日は北西の順風となりました。第8レースでは、トップを走る佐藤・村岸組が3位でフィニッシュするも痛恨のリコールを喫し、続く第9レースも11位と調子を崩した1日となりました。前回優勝のダグラス親子組は2-1とスコアをまとめトップに踊り出て、他のオーストラリア勢も順位を上げて猛追してきました。

翌レース5日目は、不安定な北寄りの軽風で、レース後半にはそれが徐々に弱まって展開。振れまわる風に翻弄され、上位でも浮き沈みのあるスコアが目立ちましたが、ダグラス親子、マクフィー・アレバロー組がここで底力を見せます。ダグラス親子は第10レースで4度目のトップをとったあと、第11レースで3位となり、最終レースがカットレースとなっても逆転されないポイントとなり、最終日を待たず

に優勝を決めました。佐藤・村岸組はのちに出艇申告ミスという残念な出来事で、第10レースに5ポイントのペナルティーを負ってしまうこととなりますが、第11レースでは貫禄の走りでクレイグ・アレバロー組、ダグラス組を従えて3度目のトップフィニッシュで意地を見せました。

マクフィー・アレバロー組は4-2とし、この時点で総合第2位に、佐藤・村岸組は第3位で最終日を迎えることになりました。

日本の3チームが入賞！

最終日も軽風となりました。この日は、これまで日替わりで熾烈な戦いを繰り広げてきた上位4チームがリーディングフリートとなり、最終の第12レースで田中夫妻組が3度目のトップフィニッシュをしました。

最終成績は、全てのレースをシングルでまとめ2位に15ポイントの差をつけて、ロバート・ダグラス/ニコル・ダグラスが2大会ぶり2度目の世界チャンピオンの座に輝きました。全豪選手権を二連覇し、前回のブーケットワールドでもジョナサン・マッキーとトップフィニッシュの奪い合いの末に準優勝している父娘ペア。今回も優勝候補の筆頭とされ、前評判どおりの実力を見せました。

第2位は、クレイグ・マクフィー/フィリップ・アレバロー組。全豪タイトルを通算5回勝ち取っているクレイグは、ワールドでも常に優勝候補の一角に入るベテランセラーで、オーストラリア内でもテザーセーリングの技術において指導的な立場となっています。悲願の世界チャンピオ



photo by BULKHEAD magazine

全レースをシングルでまとめ優勝したロバート・ダグラス/ニコル・ダグラス組

ンは今回も叶いませんでしたが、フリーでの圧倒的なスピードなど素晴らしいパフォーマンスに日本人選手たちも大いに刺激を受けました。

第3位は、江ノ島の佐藤浩章・村岸恭明組でした。長年コンビを組んで470で活躍してきた佐藤・村岸組がテザーに転向したのはわずか1年前ですが、今や間違いなく日本のトップセラーであり、多くの海外選手たちがその実力を認める存在となりました。

その他にも稲毛の田中郁也・紀子組が第4位、葉山の小松充・高橋憲太組が第6位と日本の3チームが入賞を果たしました。

大会期間中は連日天候に恵まれ、和歌山の素晴らしい自然環境の中、バラエティーに富んだ様々な風向・風域で全12レースがおこな

われました。1日のうちでも目まぐるしく風が変化するコンディションで、上位陣の安定した走りには目を見張るものがありました。

また、テザークラスらしく、最年長83歳の安原実郎さん、最年少11歳の山下春輝君も元気に参加し、79チームそれぞれが、それぞれの世界選手権を楽しく満喫することができました。

最後に、今回の世界選手権を共催し、大会を成功に導いてくださった和歌山県セーリング連盟、和歌山セーリングクラブの皆さんにあらためてお礼を申し上げます。

次回の世界選手権は2011年イギリスのトーベイで開催されます。日本からコンテナを満載にして参加しましょう！

優勝

Rob Douglass / Nicole Douglass
"Coollit" 2848 AUS



準優勝 / マスターズ優勝

Craig Mcphee / Phillipa Arevalo
"Roll Your Own" 2857 AUS



第3位

佐藤浩章・村岸恭明
2862 JPN



第4位

田中郁也・田中紀子
“Kai Ona” 2765 JPN



第5位

Shane Guanaria / Felix Grech
“Sway” 2847 AUS



第6位

小松充・高橋憲太
“Strawberry Shake” 2761 JPN



グランドマスターズ優勝

Graham Hanna / Elizabeth Kemmis
AUS



スーパーグランドマスターズ優勝

Constantijn Udo / Jan Slotemaker
NED



ジュニアヘルム優勝

Genevieve Warlow (17)
AUS



最年長特別賞

安原実郎(83) 葉山



最年少特別賞

山下春輝(11) 葉山



陸上本部の皆さん



ウェルカムパーティーの協賛、JSAF 環境キャンペーンの環境フラッグを掲げての記念撮影

これまでのテザーについて

佐藤浩章 (2862 江ノ島)

はじめまして。江ノ島フリートの佐藤です。昨年のワールドの際は皆様のお陰で楽しくレースが出来ました。ありがとうございました。

この度「これまでのテザー活動について何でも良いから述べよ」との指令をいただきましたので、簡単ではありますが思いつくまま書かせていただきたいと思います。

テザーを始めたきっかけ

思い起こせば2008年の4月のことです。当時我々のチームは470級で活動していたのですが、家庭や仕事の面などから競技性の高い470級での活動が徐々にしんどくなってきていました。何か変化が欲しいと思っていた矢先、翌年日本でテザーワールドが開催されることを聞き、物は試しと葉山で開催されたスプリングレガッタを見に行ったのが全ての始まりでした。

初めてじっくりと見るテザー級の船は、マイラーセールとローテーション

ンマストが印象的でした。スポーティーな印象とともに不思議な艦装の船だと思った記憶があります。また、もともとテザーに対しては、470級、スナイプ級に次いで活動が盛んなクラスという印象を持っており、実際にレースを見ることでその印象が正しいことを確認したのでした。

当時の我々にとって「ワールドを目指して未知の船を乗りこなす」ことは、470から乗り換えるのに十分なモチベーションとなりました。そしてワールドまでの残り時間から逆算し、2008年の秋に思い切って今の船を購入しました。

和歌山ワールド

正直、レース前は自分たちがどのくらい戦えるか全く想像できませんでした。ワールドまでに参加したテザーのレースは2レガッタのみであったため、国内レベルにおいても自分たちがどのくらいの競争力を持っているのか計りかねる状況で臨んだレースでした。

ワールドが始まると、自分たちの得意な風

域と一致したのか、レース序盤の思わぬ好調に自分たちが驚いてしまいました。一方、レイデイを挟んでのレース後半は、リコールや出艇申告ミスなど、防ぐことの出来るミスを連発してしまいました。長丁場となるレース期間中のペース配分が、特に精神面において、うまく出来なかったことが残念でした。

しかしながら、ワールドに参加することで、軽風域のクローズホールドにアドバンテージがあること、強風域のクローズホールドとフリーの走りにはまだまだ改善すべき点があることが分かりました。ワールドの場で自分たちのレベルを相対化できたのは非常に大きな経験でした。

今後

和歌山ワールドでの経験を糧に、次のイギリスワールドを目指したいと思っています。仕事や家庭の面から一筋縄ではいかないのが目に見えていますが、次も参加すると強く念じて活動したいと思います。やる

からには初の日本人チャンピオンを目指して。多くの方々と一緒に2011年イギリスワールドに行けることを楽しみにしております。



photo by BULKHEAD magazine

テザーへの転向

村岸恭明

(2862 江ノ島)

テザーに乗るきっかけは、昨年和歌山で開催された世界選手権でした。それまでは470にずっと乗っていて、違う艇種に乗るのも初めてでした。470を離れることに抵抗もありましたが、佐藤さんの後押しもあり思い切ってテザーに乗ることに。

まず、乗ってみて思ったより艇速が速いこと、難しいことがわかりました。しかし、新しいヨットに乗って、一から勉強していくことがすごく楽しかったです。ワンデザイン艇ですので、セール、マスト、艇の種類などで悩むことがなく、純粋に速く走らせることを考え、研究できたのが良かったです。

また、テザーに乗っている皆さんが非常にフレンドリーで色々教えて頂いたり、楽しく新しいクラスに入っていくことができました。特に江ノ島フリート、葉山、稲毛の方には、大変お世話になりました。

小松さん、ケンタクさんのチームには一緒に練習して頂いたり艇を乗り替わってもらったりと、早い段階で上手い選手から早く勉強することができました。ありがとうございました！

世界選手権ですが、初めて海外のテザー選手と一緒にレースをできるということで非常に楽しみにしていました。和歌山には早めに入ったので、練習の段階から一緒に走りながらわかりました。レースに入ってからずっと海外の選手の走りを見て、佐藤さんと良く会話しながら、勉強していきました。(今も悩んでいて、研究中です。)

レース前は2日連続で着艇で沈したり、色々ありましたが、レースが始まるとこれまでやってきたことがある程度発揮できて、前半は良いレースができました。佐藤さんとのコンビも長いからか(約9年)コンビネーショ

ンも違和感なく。

しかし、レイデイの後の4日目がリコールなどまずい1日になりましたが、2人で色々会話してあまり気に

せず乗り越えることができました。結果、3位ということでテザーをはじめた時に立てた目標を達成することができました。

JSAFから表彰されるというおまけもついて、09年のシーズンは良い年になりました。(実は表彰式では、佐藤さんが下の名前を間違えて呼ばれたり、私の表彰状の漢字が間違っていたりとアクシデントがありました。)

今後は、どうなるかわかりませんが、今回の世界選手権を目指す方向で進めています。今年は昨年チャレンジできなかったチューニングや艦装についてもう少し研究していくつもりです。それから関係者の皆様とももう少し交流し、楽しんでテザーに乗りたいと思います！

引き続きよろしくお願いいたします！

スプリングレガッタ

開催日：2009年4月25日～4月26日 場所：葉山新港

4月25日(土)～4月26日(日)の2日間、葉山にてスプリングレガッタが開催されました。シーズン初めでのレガッタで、気候も良い時期で毎年全日本に次ぐ多くの参加がある人気のレガッタです。今回も関西からの遠征を含め33艇が参加しました。しかし今年は天候に見放され、初日は順風ではあったもののかなりの雨。2レースが消化され、佐藤・村岸組が1-1でトップにつけました。そして2日目は大方の予想どおり、日本海側を通過した大きな低気圧に強烈な南風が吹き込み、防波堤を超えて波が押し寄せる大荒れの天気となり、ノーレースとなりました。初日の成績のまま、優勝は佐藤・村岸組、第2位は田中夫妻組、第3位は野嶋・宮下組となりました。



優勝の佐藤 / 村岸組



大雨の中スタート



パーティーにはフラダンサーが登場!

西日本選手権

開催日：2009年7月12日 場所：芦屋マリンセンター

7月12日(日) 芦屋マリンセンターで西日本選手権が開催されました。ワールド2ヶ月前ということもあり、関西を中心に過去最高の31艇が参加しました。今回は記念すべき第20回大会ということで、前日には芦屋フリート主催の懇親会が開催され、大いに盛り上がりました。レース当日は、気温の上昇とともにシーブリーズが徐々に強まるといって絶好のコンディションのもと3レースが実施されました。優勝はワールドに向けた浜名湖と琵琶湖のコラボ・長谷川 / 小沢組でした。第2位には田中夫妻組、第3位は野嶋 / 宮下組となりました。



過去最高の31チームが参加



優勝の長谷川 / 小沢組



記念すべき第20回大会となりました

ミッドサマーレガッタ

開催日：2009年8月22日～23日 場所：猪苗代湖 レポート by 小松 充 (葉山)

8月22日(土)～23日(日)の2日間、福島県にある猪苗代湖にてミッドサマーレガッタが開催されました。両日もシフトがある北西風でしたが、割と風軸は決まっております、運営側としてはやりやすかったのではないかと思います。予定レースは、順調に消化されました。全レースとも全体的には4～5mの順風で、重くなく乗りやすい軽い感じの風に、タックしどころがいくつもある面白いレースが展開されたように思います。

初日3レースは、小松・高橋艇と金子夫妻艇の1・2位争いに終始し、翌2日目の第4レースで、金子艇がスコアを崩し、小松・高橋組が優勝を決めました。最終レース、完全優勝を狙う小松・高橋艇がトップ回航し、後続を一反引き離しますが、下マーク手前で風が止まります。パフに乗ってこれをグングン追いつける後続艇団。戸室・倉持艇が完全優勝は阻止するという

気迫とオーラをまとっています。まだ風が届かず止まったままの先行艇には、近づく艇団と共に、ベテラン戸室スキッパーのクルーへの単語指令が断続的に聞こえてきます。この気迫に負けたのか、小松・高橋艇は最終レースを大きく崩し、戸室・倉持艇が意地のトップフィニッシュを決めました。総合2位は、久々のレガッタ復帰ながらも長いテザー歴は伊達ではないところを見せつけた金子夫妻組、総合3位には、5レースをもっとも手堅くまとめた山村・池田組が入りました。

―猪苗代湖でのミッドサマーを復活させましょう―

葉山フリート 小松 充

猪苗代湖では「猪苗代国際オープンヨットレース」というのが開催されていました。これはInt.14ワールドが同地で開催された後、一種のまちおこしのような形で、毎年8月後半の週末に開催されてきた素晴らしいイベントでした。'80年代中ごろから始まっているイベントで、大変成功し、長く続いたイベントでした。地元の人達も一緒になって、ディングレーサーで、各地から「おらが村」に人を集めるといのは、ヨット界全体から見ても素晴らしい活動だと思いました。

テザーでは、'90年代後半に、これに相乗りする形で東北選手権をやるということになりました。テザーをカートップしてこのオープンレースに参加していた金子さんや当時の理事会を中心に企画されました。そのうち、当時江ノ島で毎年開催されていたミッドサマーも兼ねるようになりました。オープンレースにテザーの公式レースを兼ねる手法は、レース公示や帆走指示書の問題やクラスルールなどの兼ね合いなど、何かと問題がないわけではありませんが、猪苗代の佐藤良さんを中心とした地元の実行委員会にも暖かく迎えられ、テザー協会としても運営の省力化などの実用面でのメリットがありました。そして、なにより

も、水質日本一にもなった猪苗代湖は、避暑に、温泉に、湖水浴に、キャンプに、旅行に、観光に、テザー協会のイベントの中でも一味違うイベントとなったのでした。ところが、この母体となっていたオープンレースがなくなり、テザー協会としても猪苗代のイベントが行えなくなりました。しかしながら、2008年、地元の実行委員会がこのイベントを復活させることに成功しました。テザー協会としても、すぐに呼応して、猪苗代湖でのイベントを復活させたかったのですが、ちょっとアナウンスを受けたのが遅く、ワールド前年の全日本への準備もあり、見送られました。2009年の今年もワールド本番を控えていたのですが、なんとかテザー協会のイベントとして復活させようとのことで、2009年ミッドサマーレガッタを猪苗代湖で実施したのでした。

猪苗代湖でのミッドサマーレガッタを再開するのにあたり、実はミッドサマーレガッタという優勝カップがないことが分かりました。2002年の理事会で各イベントに持ち回りカップを作ろうとしたことがあったのですが、東北選手権のカップがあったためか、ミッドサマーレガッタのカップは作られなかったようです。そこで、今年、ミッドサマーレガッタのカップを用意することにしました。また、東北にもいくつかテザーはあるのですが、このレースへの東北の方の参加はなく、今回、東北選手権というタイトルは見送ることにしました。東北選手権と

いうタイトルは、東北でのテザー普及を願った意図もあったのですが、よそから来た人達だけでそのタイトルをかけるのもどうかということで、東北でテザーの活動が増えたら、こちらのタイトルも復活させてはいかがかと思います。

2010年は、是非みなさんにも参加していただきたいと思います。気候もよく、高原の爽やかな風でのヨットレースはいいものです。地元野菜の参加賞も健在です。今年は、アスパラガスがおいしかったです。お米などの賞品もいただき、おみやげも充実したレースでした。このイベントに参加すると、夏休みを気分よく締めくくれる、そんな気がします。

今回の遠征で伺ったところによると、猪苗代湖の水質が落ちていたとのことでした。天を映す鏡の湖『天鏡湖』とも称された猪苗代湖は、環境省の調査で4年連続の“水質日本一”と評価され、名実ともにきれいな湖だったそうです。しかしながら、2007年、突然トップの座から転落。自然の浄化力と関係する強酸性の水質が、“中性”に変わってしまったとのことでした。初日のパーティーで微力ながら募金してきましたが、なんとかこちらの方も復活して欲しいものです。

最後に、猪苗代湖オープンレース実行委員会の皆様、本当にありがとうございました。



優勝 小松/高橋組(葉山)



第2位 金子夫妻組(稲毛)



第3位 山村/池田組(稲毛)

ミッドウィンターレガッタ

開催日：2010年2月21日 場所：稲毛ヨットハーバー

2月21日、稲毛ヨットハーバーにて恒例のミッドウィンターレガッタが開催されました。寒い中、和歌山や浜名湖からの遠征組も含め、19艇の参加がありました。当日は運営泣かせの不安定な微軽風でしたが、絶妙なタイミングでのスタート判断で、3レースが実施されました。優勝は、6-2-1と尻上がりにはスコアをまとめた地元稲毛フリートの田中郁也・紀子組となりました。海外赴任期間も挟んで久々の優勝とのことでしたが、その走りは健在。第2位は、第1レースの難しいコンディションでトップフィニッシュし流れに乗った戸室宣房/海一郎組、第3位は和歌山ワールドでの好成績で一躍注目チームとなった佐藤浩章・村岸恭明組でした。レース後は、稲毛フリート名物?のお汁粉やカレーが振舞われ、真冬のレースと遠征を楽しみました。



軽風で第1レースがスタート



優勝 田中夫妻組(稲毛)



第2位 戸室親子組

11月15日に予定されていたオータム・レガッタは強風のため中止になりました。

メジヤラー通信

宮下知之

和歌山ワールドが終わって、半年が過ぎようとしています。私は世界選手権本番と準備で燃え尽きてしまったのか、ワールドが終わってから一度も海に出ていません。そんな中でしたが、先日、JSAFのワンデザインクラス(ODC)委員会に参加してきました。これは装備品のルール(ERS)の理解と、レース時や通常計測の普及や計測者の技術の向上などを目的とした委員会です。

JSAFは2009年度から全日本選手権でレースオフィサーやプロテスト委員と同様に計測委員をおくことを全日本開催の条件としました。しかし、計測は非常に負担の大きいもので、出艇数の多いレースではレース日程を1日長くしないとレースが開催できなくなったり、出艇数の少ないクラスでは計測員がいなかったりという問題が多く、きちんとした計測が行われていないのが現実です。この状態を改善するために作られたのがODC委員会ですが、参加した各クラスのメジャラーに話を聞くと、全日本で計測をきちんとやれているのは、ディンギーでは4~5クラスしかなく、Tasarクラスは中でもかなりきちんと計測を行っているクラスであるということでした。

しかし、昨年の世界選手権や2008年の全日本では、事前計測や、レースの前や期間中の計測と大がかりなものでした。特に計測委員にはかなりの負担であったと思われ、多少無理をした感があります。世界選手権ではしかたないにしても、それ以外のレース(特に全日本)でどこまで計測を行うかは議論が必要であると思います。

一方、多くの方が世界選手権を知った今、日本のTasarクラスがどうやってレースを行っていくべきかを考えなくてはならない時期に来ていると思います。計測を行うということは、ルールを知り、ポートを知ると言うことにつながります。そういった意味で計測を考えることは、そのクラスのルールを含めたあり方を考えることにつながると思います。

さてそこで2010年度ですが、総会決議にあったように、C6(体重のルール)の適用は、理事会で決めることができることになりました。ご存知の通りC6には様々な意見があり、国内でもまた、海外でも意見が割れています。リチャードスペンサーによる提案(参考:WTC報告)はこの問題に一石を投じるものとなりましたが、今後どうなるかはわかりません。毎年、総会の短い時間だけで体重ルールのことを話すのではなく、1年間かけて話ができれば良いと思っています。

この原稿を書いている時点でどなたが新理事会のメンバーになるのかはわかりませんが、理事会でC6をどうしていったら良いのか?もし廃止するならどうやってやっていくのが良いのか?を話し合いたいと思っています。その過程でC6を採用するレースを行う必要があるかもしれません。

できるだけ沢山の方が意見を発信していただけるように、メジャラーとしても多くの方に声をかけていきたいと思っています。C6の問題に限らず、計測のことルールのことなど意見をお寄せ下さい。

フリート便り

稲毛フリート 軽部竜也

こんにち。稲毛フリートです。
今年(2010年)で15年目を迎えました。ということで今年は、記念レース、記念パーティ、記念旅行など、やることなすこと「記念」と銘打って(こじつけて)何かと楽しくやっついてこうと予定しています。
現在の主な活動メンバーは7チームです。2009年に2チームが福岡、シンガポールなどへ旅立ち、メンバーが少し減ってしまいました。現役のメンバーは元気に活動していますが、ここ2~3年は新規参入メンバーがなく寂しい限りです。若い人にはこれからもどんどん積極的に活動してもらいたいものです。というわけで(?)今回は、稲毛フリートの未来を担う貴重な若手2チームにスポットをあてて紹介してみることになりました。

まずは2073 富田夫妻チームです。その艇は、元は山床夫妻の愛艇だったものを譲り受けたもので、和歌山ワールドの閉会パーティではその古さを讃えられ(参加艇中一番古い艇)「船を大事にしま賞」を受賞しました。奥さま(クルー)はヨット未経験だったものの、大学ヨット部OBの旦那さん(ヘルムス)に誘われて(騙されて?)一緒に乗ることになったのですが、最近では色々知恵がついてきたようです。レース中だろうと不明な点があればスキッパーを質問責めにし、リコールなどしようものなら後でデザートをおごらせるペナルティーを課すなど、ヨットの知識とともに船とパートナーをコントロールする術を身につけてきたようです。今後の成長が楽しみなチームです。

続きまして、2736 山村・池田チームです。この二人は大学ヨット部の先輩・後輩コンビで、稲毛フリートではとても貴重な独身男子ペアです。傍から見てみると先輩・後輩の上下関係を感じさせない、ざっくばらんというか、遠慮なしというか、不思議なチームで

す。二人ともヘルムスをやりたいのか、あるいはクルーが嫌なのかは分かりませんが、レースによってヘルムス・クルーのポジションを変えていたりします。基本的に研究熱心なのでしょう、色々試して乗っているようです。また、普段はあまり口数が多いコンビではないですが、和歌山ワールドのBBQパーティでのデイリープレゼンテーションでは司会を務め、その実力を発揮しました。ヨットの実力も確かなものを持っているはずなので、これからモタイトル獲得を狙って頑張ってくれるでしょう。

と、これからの活躍に期待をこめて若手チームを紹介してみました。他にも今さら紹介するまでもないベテランのあのチームや、実力者のあのチームなど、みんなで元気に活動しています。これらのメンバーで、ほぼ月1回のフリートレース(IST)を中心に練習および宴会を行っています。

稲毛フリートのレース、宴会は部外者歓迎ですので、興味のあるかたはぜひお越しください。

葉山フリート 小川 雅

葉山フリートは、シーズン発目のスプリングレガッタを担当することが恒例となっておりますが、全国各地から多くの皆様にご参加いただけるお陰で、30艇以上もの規模にて大会を開催することができています。今年度も、レースだけでなくレセプションパーティーでも皆様と一緒に楽しむことができるよう、数ヶ月前から準備を行っておりますので、是非セーリング仲間やご家族をお誘い合わせの上、葉山へお越し下さい。

また、年に2~3回ほど葉山で親睦レースを開催しています。葉山以外のフリートの方でも、またテザー以外の艇種でも、ディンギーセイラーであれば誰でも大歓迎ですので、お気軽に葉山フリートのメンバーまでご相談下さい。

江ノ島フリート 高橋 徹

昨年のワールド終了後は、ひと息つく間もなく11月のオータムの準備にかかりましたが、それが強風で中止になってから、何となく脱力系の日々を過ごしています。まあマイペースなメンバー達なので、次のシーズンに向けて英気を養っている、と思えます。たまに週末2、3艇見かけることもあります。「何でみんな来ないんだよ~」と相変わらずボヤいているのは山分さん、一年中お元気です。なお、昨年暮れに関口さんが新たに加わりました。

先日メンバーが集まって、今年は秋にオータムを開催する方向と人集めを兼ねて試乗会をしようかという事になりました。テザーに参加する人がメンバーとして増

えればいなと思っています。ところで、このたびフリートキャプテンを村尾さんに交代することになりました。年寄り同士で役を廻していても仕方ないのですが、そういう意味で若い人たちの運営への積極的な参加を切にお願いしたい、今日この頃なのです。

大阪北港フリート 河野信司

和歌山ワールドから早くも半年が経とうとしています。ワールド熱も冷めてきた今日この頃の北港はと言いますと...皆冬眠状態にあります。普通は「塩っけが抜ける」と言うようですが、北港では「泥臭さ」が抜けると言います。

さて本題に入りますが、ワールドを機に北港フリートにニューフェイスが加わりました!!元スナイプ乗りの丸田さん、トッパー乗りの泉さんの2名(しかも若い女性)が加わりました。北港メンバーは相変わらず地方の寄せ集め状態が続いており、ますます高齢化が進んでおりますが、浜名湖全日本では北港全艇のシングル入りを目指し(という事にしました...)冬眠から覚めつつあるところです。

冬は絶対に乗らないと豪語していた石川さん(浜名湖ワールド11位)は、何とドライスーツを購入したという裏情報もあり(しかし冬眠中?)それぞれに静かな闘志をみなぎらせています。

ワールド15位の三輪、野本チームは全日本に向けて...と言いたかったのですが、野本さんの転勤によりチーム解散!現在冬眠しつつ相棒を探しています。危うし全日本!?

あとは皆さんにはどうでも良い話だと思えますが、北港の指定管理者であった大阪市港

湾局が手を引き?、この4月から吉本興業の関連会社に管理が移行します。どうでも良い話ですいません。

最後になりましたが、これまで北港テザーフリートを盛りたて、ワールドという大仕事をこなした秋吉さんに心から盛大な拍手を贈りたいと思います。そして私 河野が、大変な時期が過ぎ去ってから(2月に)フリートキャプテンを引き継ぐ事になりました。皆さんの足を引っ張らない様にがんばりますので北港フリート共々よろしくお祈りします

以上、北港フリートの近況報告でした。

芦屋フリート 渡辺克充

一昨年までは所属艇数が多いのに活動が少ないフリート...でしたが、昨年度は、和歌山で開かれた和歌山ワールドへ芦屋から12艇がエントリーし、チャーターボートも3艇出すことが出来るなど、全員参加でイベントを盛り上げることができました。その後シーズンオフになってしまったため、活動は一時穏やかになっていますが...昨年度の余韻をそのままに、今年度も関西の他フリートと一緒に盛り上げていきたいと思えます。

関東から遠征していただけるようなイベントも検討中ですので、みなさん、よろしくお祈りいたします。

【会費納入のお願い】

2010 年度分の会費はお早めに下記までお振込みください。

2010 年度会費

(2011 年 3 月末迄有効)

振込先:

三菱東京 UFJ 銀行

高田馬場駅前支店 (657)

普通: 4730210

日本テザー協会 会計 野口優
(ニホンテザーキョウカイ カイケイ ノグチマサル)

振込み依頼人名は必ず会員本人のお名前をお願いいたします

年会費:

個人会員 5,000 円

個人 3 年会員 14,000 円

家族会員 3,000 円

継続の方も、事前に必ずウェブから申し込みフォームでご連絡ください。

スプリングレガッタ以降、振込先の変更が予定されていますのでご注意ください。詳しくはお問い合わせください。

< 会費納入についての問合せ先 >

メール: kaikei@tasarjapan.org

【住所変更について】

住所等の登録事項に変更がありましたら、下記国内事務局までご連絡ください。協会ウェブサイトでも住所変更用フォームが利用可能です。

【入会のご案内】

一緒にテザーを楽しみませんか? 日本テザー協会では随時入会を受付けています。入会をご希望の方は、メールフォームにてご連絡の上、左記口座に会費をお振込みください。振込が確認された時点で登録とさせていただきます。

ご不明な点は国内事務局までお問合せください。

< 新規 / 継続及び住所変更用フォーム >

<http://tasarjapan.org/membership/registration.html>

< 会員登録についての問合せ先 >

メール: info@tasarjapan.org

【JSAFの登録について】

日本テザー協会では、平成22年度のJSAF メンバー登録の受付を開始しました。浜名湖全日本に参加を予定されている方は全員 JSAF のメンバー登録が必須です。会報 J-SAILING の発送や傷害保険の適用は、登録時点からとなります。この機会に是非継続または新規加入をお願いします。

< JSAF メンバー登録について >

http://tasarjapan.org/membership/membership_b.html#JSAF

【TasarNews】ではみなさんからの便りを募集しています。フリートレースやローカルイベントのレポート、新メンバーの紹介など、皆さんの身近なテザーライフをご紹介ください。TasarNews に関する感想やご意見も合わせてお寄せください。楽しいお便りをお待ちしています。

お便り
大募集

JTA 広報チーム

mail: publicity@tasarjapan.org
まで

Tasar News

Vol.91

2010 年 4 月発行

日本テザー協会

代表 山本 晴之

〒240-0012

神奈川県葉山町堀内 1003-3 ~ S

(2010 年 4 月より)

Edit/Design

Sumiko Ishimaru

Staff

Katsumi Watanabe

Makoto Oka

Contact

事務局

info@tasarjapan.org

イベント

event@tasarjapan.org

メジャー

measurer@tasarjapan.org

会計

kaikei@tasarjapan.org

広報

publicity@tasarjapan.org

編集後記

Editor's Note

桜が咲いて春めいたのも束の間、東京は冬に逆戻りの寒い日々が続きました。この週末はようやく春の陽気の中お花見が楽しめそうです。ハーッ。レターの発行が遅くなってしまい本当に申し訳ありませんでした。ワールドが終わってから明らかに戻すほみで、ホントわかりやすい性格でスマセン! 3月20日には新旧交代理事会がおこなわれ、これが広報担当理事の卒業式になる予定でしたが、このレター(卒論)をリリースするまでは、卒業保留となっていました。春の訪れ

とともに、やっと卒業です。今までヘッポコな広報委員長を影で支えてくれた楽しく優秀な仲間たち(=渡辺くん、まほろってん、ゆ

心底楽しむ側にスイッチしたいと思います。とにかくこれでもか! というくらい楽しく乗り倒し、幸せなテザー乗りオー



ラをブンブンさせながら、テザークラスのボトムをがっつり支えたいと思います。自主運営がモットーのテザークラスでは、まず自分が楽しく活動することが一番かと。ウェットの季節到来です! 葉山の海から見るお山は、これからの季節、桜や新緑でパステルカラーに彩られモコモコの和菓子みたいになります。スキップしながらいざ海へ!

うさん、西さん、岡くん)とにかく感謝です。さて、これからは...。暫くは

2年間、ご協力ありがとうございました。

(Ishimaru)

2009テーズスプリングレガッタ CUT 0レース

2009年4月25-26日 神奈川県・葉山 レース委員長:石原裕二

Entry No	SailNo	Skiper	Crew	Fleet	Class	第1レース			第2レース			第3レース			第4レース			第5レース			第6レース			第7レース			合計	CUT	NET	順位
						着順	反則	得点	着順	反則	得点	着順	反則	得点	着順	反則	得点	着順	反則	得点	着順	反則	得点	着順	反則	得点				
1	9	2862	佐藤 浩章	村岸 恭明		江ノ島		1		1		1		1												2	0	2	1	
2	1	2765	田中 郁也	田中 紀子		稲毛	M	2		2		2		2												4	0	4	2	
3	25	2709	野嶋 嘉昭	宮下 知之		葉山	M	3		3		5		5												8	0	8	3	
4	7	2761	小松 充	外石 満	高橋 憲太	葉山		4		4		4		4												8	0	8	4	
5	32	2572	軽部 香	軽部 竜也		稲毛		7		7		6		6												13	0	13	5	
6	29	2395	本吉 謙治	小松 としひで		葉山	M	5		5		9		9												14	0	14	6	
7	8	2749	野口 優	杉田 智宏		江ノ島		8		8		7		7												15	0	15	7	
8	3	2593	亀山 寛達	井上 敦		稲毛		14		14		3		3												17	0	17	8	
9	16	2736	山村 太郎	池田 陽平		稲毛		9		9		8		8												17	0	17	9	
10	33	2396	山本 晴之	山本 玲子		葉山		10		10		10		10												20	0	20	10	
11	13	2791	藤井 章一郎	石川 あゆ美		未所属		6		6	18		18													24	0	24	11	
12	5	2764	中西 英貴	児島 克博		芦屋		11		11	15		15													26	0	26	12	
13	20	2615	田口 裕介	山下 朝子		葉山	M	17		17	12		12													29	0	29	13	
14	15	2809	蜂須賀 強	大場 健介	新井 実	浜名湖	M	18		18	13		13													31	0	31	14	
15	10	2621	山下 栄輝	山下 陽子	谷津 美幸	葉山		15		15	16		16													31	0	31	15	
16	23	2327	石塚 恒志	工藤 陽		浜名湖	M	21		21	11		11													32	0	32	16	
17	24	2668	河野 信司	河野 克望		大阪北港		13		13	19		19													32	0	32	17	
18	17	2821	戸室 宣房	堀之内 考一郎	倉持 佑輔	未所属		20		20	14		14													34	0	34	18	
19	21	2768	金子 直樹	久礼 嘉伸		葉山		12		12	23		23													35	0	35	19	
20	30	2708	高松 慎吾	奥村 香織	須崎 裕典	葉山		16		16	21		21													37	0	37	20	
21	27	2720	建内 満	武田 崇宏	岡 誠	葉山		19		19	20		20													39	0	39	21	
22	19	2671	阪井 祐介	相葉 基夫	小林 昌弥	葉山		22		22	22		22													44	0	44	22	
23	26	2808	石川 洋二	山崎 真一		葉山	M	23		23	25		25													48	0	48	23	
24	14	2675	安原 実郎	戸田 隆久		葉山	SGM	26		26	24		24													50	0	50	24	
25	2	2866	渡辺 克充	中野 佳代子		芦屋			DNC	34	17		17													51	0	51	25	
26	6	2706	石丸 寿美子	東島 和幸		葉山	M	24		24	27		27													51	0	51	26	
27	12	2726	大橋 武史	伊藤 真人	矢柴 明美	葉山		25		25	26		26													51	0	51	27	
28	4	2867	池田 俊則	秋吉 寿美子		大阪北港	GM		DNF	34		DNF	34													68	0	68	28	
28	11	2725	鈴木 英広	酒井 秀夫		未所属			DNF	34		DNF	34													68	0	68	28	
28	18	2466	高橋 徹	佐々木 和人		江ノ島	M		DNF	34		DNF	34													68	0	68	28	
28	22	2730	宇佐美 重則	小田倉 里美		稲毛	M		DNF	34		DNF	34													68	0	68	28	
28	28	2822	亀井 直文	小松原 貴志		未所属	M		DNF	34		DNF	34													68	0	68	28	
28	31	2748	小川 雅	清水 実	井村 太一	葉山			DNF	34		DNF	34													68	0	68	28	

テニザー西日本選手権 種目別得点集計表

最終成績

レース委員長

森本 学

プロテスト委員長

中野 鉄芳

低得点方式

実施日	平成21年7月12日
会場	兵庫県立海洋体育館
種目	テニザー一級

No.	Sail No.	選手名	フリート/水域	クラス	第1レース			第2レース			第3レース			最終成績	
					着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	得点合計	総合順位
1	2657	長谷川勝啓／小沢拓身	浜名湖	M	2	2	2	2	2	2	3	3	3	7	1
2	2765	田中郁也／田中紀子	稲毛	M	6	6	6	6	6	6	4	4	4	16	2
3	2709	野嶋嘉昭／宮下知之	葉山	M	14	14	14	1	1	1	2	2	2	17	3
4	2396	山本晴之／山本玲子	葉山	M	5	5	5	7	7	7	5	5	5	17	4
5	2670	内村祥史／安澤厚男	芦屋	GM	19	19	19	3	3	3	1	1	1	23	5
6	2712	下村晃司／酒井典子	芦屋		3	3	3	14	14	14	8	8	8	25	6
7	2668	河野信司／河野克望	大阪北港		4	4	4	8	8	8	13	13	13	25	7
8	2534	柳瀬照美／宮崎公邦	芦屋		9	9	9	18	18	18	6	6	6	33	8
9	2705	植田泰平／植田典子	芦屋	M	7	7	7	12	12	12	16	16	16	35	9
10	2663	秋山紀夫／今野泰幸／関根恒久	琵琶湖	M	11	11	11	15	15	15	9	9	9	35	10
11	2327	石塚恒志／工藤陽	浜名湖	M	20	20	20	11	11	11	7	7	7	38	11
12	2593	亀山寛達／井上敦	稲毛		8	8	8	20	20	20	14	14	14	42	12
13	2653	多田幸男／割石順子	大阪北港	SGM	1	1	1	21	21	21	23	23	23	45	13
14	2861	吉田敬一／岸本辰也	大阪北港	GM	13	13	13	16	16	16	17	17	17	46	14
15	2662	金森健次／森勝彦	琵琶湖		24	24	24	13	13	13	11	11	11	48	15
16	2764	中西英貴／乾啓幾	芦屋		21	21	21	17	17	17	12	12	12	50	16
17	2867	池田俊則／秋吉寿美子	大阪北港	GM	15	15	15	4	4	4	DNS	DNS	32	51	17
18	2739	加野晴紀／河野恭子	福岡		26	26	26	10	10	10	15	15	15	51	18
19	2723	岩出彰／蜂須賀弘美	琵琶湖	M	12	12	12	9	9	9	DNC	DNC	32	53	19
20	2866	渡辺克充／中野佳代子	芦屋		10	10	10	23	23	23	21	21	21	54	20
21	2896	井村太一／清水実	葉山		27	27	27	22	22	22	10	10	10	59	21
22	2735	宮本哲生／関口真秀	芦屋		17	17	17	26	26	26	22	22	22	65	22
23	2707	河合里香／白岩道孝	江ノ島	M	22	22	22	24	24	24	19	19	19	65	23
24	2615	田口裕介／山下朝子	葉山	M	29	29	29	5	5	5	DNC	DNC	32	66	24
25	2688	吉田哲郎／吉田麟太郎／吉田忠史	芦屋		16	16	16	19	19	19	DNC	DNC	32	67	25
26	2738	三輪記裕／野本雅史	大阪北港		25	25	25	25	25	25	20	20	20	70	26
27	2655	抜井由紀子／抜井康樹	芦屋	M	28	28	28	27	27	27	18	18	18	73	27
28	2706	石丸寿美子／東島和幸	葉山	M	18	18	18	28	28	28	DNC	DNC	32	78	28
29	2660	児島克博／佐藤和紀	芦屋		DNS	DNS	32	29	29	29	24	24	24	85	29
30	2208	南屋恵美子／続木政光	芦屋		23	23	23	DNF	DNF	32	DNC	DNC	32	87	30
31	2810	川瀬隆／川瀬実花	芦屋	M	DNC	DNC	32	DNC	DNC	32	DNC	DNC	32	96	31
スタート時刻					12日 11:16:00			12日 13:04:00			12日 14:30:00				
先頭艇フィニッシュ時刻					12日 11:57:30			12日 13:35:15			12日 15:01:59				
レース終了時刻					12日 12:04:47			12日 13:45:30			12日 15:07:52				
コース					1-2-3-1-3			1-2-3-1-3			1-2-3-1-3				
天候					晴れ			晴れ			晴れ				
風向					230°			260°			250°				
風速					5.0m/s			6.0m/s			7.0m/s				
波高					0.2m			0.2m			0.5m				
水温・気温					20.5℃/32.5℃										
出走艇数					31艇			31艇			31艇				

テーパー級ミッドサマーレガッタ2009

日程 2009/8/22,23
参加艇数 10 艇

Ent	選手名	セ-ル番号	艇種	第1レ-ス			第2レ-ス			第3レ-ス			第4レ-ス			第5レ-ス			合計 得点	総合 順位	
				着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点	着順	順位	得点			
8	小松充 高橋憲太	2761	テ-ザー	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	7	7	4	1
3	金子文雄 金子ルミ	2676	テ-ザー	2	2	2	2	2	2	2	2	2	8	8	8	2	2	2	8	2	
7	山村太郎 池田陽平	2736	テ-ザー	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	5	5	5	12	3	
9	久礼嘉伸 奥村香織	2768	テ-ザー	8	8	8	6	6	6	4	4	4	2	2	2	3	3	3	15	4	
10	戸室宣房 倉持祐輔	2821	テ-ザー	4	4	4	7	7	7	7	7	7	5	5	5	1	1	1	17	5	
4	高松慎吾 須崎裕典	2708	テ-ザー	7	7	7	4	4	4	6	6	6	9	9	9	4	4	4	21	6	
2	阪井祐介 相葉基夫	2671	テ-ザー	6	6	6	8	8	8	5	5	5	4	4	4	10	10	10	23	7	
6	宇佐美重則 小田倉里美	2730	テ-ザー	5	5	5	5	5	5	8	8	8	6	6	6	9	9	9	24	8	
5	大橋武史 杉本啓伍	2726	テ-ザー	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10	10	10	6	6	6	33	9	
1	富田亮二 富田寿子	2073	テ-ザー	10	10	10	10	10	10		DNS	11	7	7	7	8	8	8	35	10	

レース委員長

プロテスト委員長

2009年度テザーミッドウインター成績表

2010年2月21日 稲毛沖
レース委員長: 軽部 竜也

順位	セールNo.	クラス	スキッパー	クルー 1・2	フリート	race1		race2		race3		race4		合計
						着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	
1	2765	M	田中 郁也	田中 紀子	稲毛	6	6	2	2	1	1			9
2	2821	M	戸室 宣房	戸室 海一郎	未所属	1	1	6	6	3	3			10
3	2862		佐藤 浩章	村岸 恭明	江ノ島	11	11	1	1	2	2			14
4	2534	GM	岩出 彰	蜂須賀 弘美	未所属	7	7	4	4	4	4			15
5	2736		山村 太郎	池田 陽平	稲毛	4	4	3	3	11	11			18
6	2745	M	関口 真秀	室松 さとし	江ノ島	5	5	7	7	10	10			22
7	2676	GM	金子 文雄	芳野 紀良	稲毛	8	8	5	5	12	12			25
8	2208		南屋 恵美子	宮崎 公邦	芦屋	3	3	8	8	16	16			27
9	2615	M	田口 裕介	山下 朝子	葉山	9	9	13	13	6	6			28
10	2715		阪井 祐介	小松 利英	葉山	17	17	9	9	5	5			31
11	2707	M	河合 理香	白岩 道孝	浜名湖	16	16	10	10	7	7			33
12	2396	GM	山本 晴之	石川 洋二	葉山	2	2	17	17	15	15			34
13	2749		野口 優	杉田 智宏	江ノ島	13	13	15	15	8	8			36
14	2768		久礼 嘉伸	奥村 香織	葉山	15	15	12	12	9	9			36
15	2073		富田 亮二	杉山 修一	稲毛	12	12	11	11	13	13			36
16	2706	M	石丸 寿美子	東島 和幸	葉山	10	10	14	14	17	17			41
17	2605	GM	武田 桂一	蜂須賀 強	稲毛	14	14	16	16	14	14			44
18	2593		亀山 寛達	井上 敦	稲毛	DNC	20	DNC	20	DNC	20			60
18	2720		建内 満	岡 誠	葉山	DNC	20	DNC	20	DNC	20			60
スタート時刻						11:33:00		13:42:00		14:26:00				
トップ艇フィニッシュ時刻						11:56:40		14:09:57		14:44:30				
最終フィニッシュ時刻						12:01:00		14:12:10		14:47:50				
風速						1-3m		1-2m		1-3m				

2010 年度テザー級スプリングレガッタ

2010 年 4 月 24 日～2010 年 4 月 25 日

葉山港（神奈川県三浦郡葉山町堀内 50）

主 催：日本テザー協会

後 援：テザー葉山フリート、デラマンチャヨットクラブ、ソニーセーリングクラブ、
葉山町ヨット協会、日本ファイアーボール協会

協 力：葉山町港湾管理事務所

レース公示

1 規則

1.1 本レガッタは『セーリング競技規則』に定義された規則を適用する。

1.2 セーリング競技規則 付則 G3 を次のとおり変更し適用する。

G3 チャーターまたは貸与した艇

レース公示、または帆走指示書に記載している場合、大会のためチャーターした艇または貸与した艇には、クラス規則に違反している国を示す文字やセール番号（他の参加者と重複しない）を付けることができる。

1.3 セーリング競技規則 63.7 を次のとおり変更する。

レース公示と帆走指示書の間には矛盾がある場合、帆走指示書を優先する。

1.4 セーリング競技規則 87 およびテザークラスルール補足説明 29 に基づき、テザークラスルールを次の通りに変更する。

・ C 6 削除

・ 補足説明 32 「時計」と「コンパス」、および「レース委員会に搭載の許可を得た GPS」以外の、戦術的なアドバンテージを得られる電子機器を艇に設置してはならない。ただし、レース中の艇は、GPS による情報を取得してはならない。

2 広告

2.1 艇は、主催団体により選択され提供された広告を表示するよう要求されることがある。

3 資格および参加

3.1 本レガッタはテザークラスのすべての艇が参加できる。

3.2 参加資格のある艇は、申込書式と必要な参加料（ケース①）を 2010 年 4 月 21 日（水）までに、3.2.1 および 3.2.2 に従い送付することにより、参加申し込みをすることができる。

3.2.1 申込書式送付

下記の（１）または（２）の方法で送付する。

（１）協会公式 Web サイト(<http://tasarjapan.org/>)のオンラインエントリーシステムの書式を完成させ、同サイトより送付。

（２）添付の書式を完成させ、小松 充 (FAX.046-873-5589) へ FAX により送付。

3.2.2 参加料送付

下記銀行口座へ銀行振込により送付する。

三菱東京UFJ銀行 逗子出張所 普通口座 0638635

テザーズプリングレガッタ コマツミツル

3.3 参加申し込みが遅れた場合には、次の条件で受け付ける。

添付の書式を完成させ、必要な参加料（ケース②）と共に、2010年4月24日(土)08:30から09:30までに、登録受付へ提出する。

3.4 参加料納入後の申込み取消し（キャンセル）は受け付けない。但し、レース委員会が正当な事由があると認めた場合は、この限りではない。

4 参加料

4.1 参加料は、次の通りとする。

ケース① 12,000円（2010年4月21日までに振り込む場合）

ケース② 15,000円（参加申し込みが遅れた場合）

4.2 その他の費用

- ・ 持込艇（テザー）に対する施設利用料 2,360円/艇・2日。

5 日程

5.1 登録

2010年4月24日(土)08:30から09:30まで

5.2 レース数

4月24日(土) 3レース

4月25日(日) 4レース

5.3 4月24日(土)の最初のレースの予告信号の予定時刻は、10:55である。

4月25日(日)の最初のレースの予告信号の予定時刻は、09:25である。

5.4 レガッタの最終日には14:25より後に予告信号を発しない。

6 帆走指示書

帆走指示書は、2010年4月24日(土)08:30から09:30までの間に、大会本部で入手できる。

7 開催地

7.1 添付資料Aは、レガッタ会場の場所を示す。

7.2 添付資料Bは、レースエリアの場所を示す。コースが設定されるレースエリアは、添付資料BにおけるB2エリア・Dエリア・Eエリア・Fエリアのいずれかとなる。

- 8 コース
添付資料Cは、帆走するコースの場所を示す。
- 9 得点
- 9.1 シリーズの成立には...1...レースを完了することが必要である。
- (a) ...5... レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点はレース得点の合計とする。
- (b) ...5... レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 10 支援艇
チームマネージャー、コーチやその他の支援者はレース中、コースエリアから 100m 以上離れていること。ただし、主催者の提供する支援艇、あるいは、その他の支援艇がレース委員会に助力を求められた場合は、この限りではない。
全ての支援艇は 400mm×400mm より大きな白色の識別を掲げなければならない。
- 11 停泊
艇は葉山港の指定された場所に保管しなければならない。
- 12 無線通信
緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。また、この制限は携帯電話にも適用する。
- 13 賞
賞は次の通り与えられる。
- ・ 1～3 位
 - ・ マスタークラス（乗員の合計年齢が 80 歳以上 99 歳以下） 1 位
 - ・ グランドマスタークラス（乗員の合計年齢が 100 歳以上 119 歳以下） 1 位
 - ・ スーパーグランドマスタークラス（乗員の合計年齢が 120 歳以上） 1 位
 - ・ レディースヘルム（ヘルムスマンが女性、フォアハンドの性別は不問） 1 位
- 年齢・性別に関わる表彰は実施された全てのレースにおいてそれぞれの要件を満たした場合に対象となる。このクラス別表彰は、総合成績の順位を以って決定する。
主催者は上記以外の賞を設ける場合がある。
- 14 容認事項
本レガッタの参加者は、次に掲げる事項について、予め容認するものとする。
- ・ （名前や画像を使用する権利）本大会に参加するにあたり参加者は、競技中の参加者のあらゆる動画、写真、ライブ、テープあるいはフィルムによるテレビ映像やその他の複製を、時あるごとに主催者の判断で大会に関するあらゆるものに作り、使い、公開する権利を、主催者に対し無償で永続的に譲渡したものとする。

15 責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。規則4 [レースすることの決定] 参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

16 追加情報・問い合わせ先

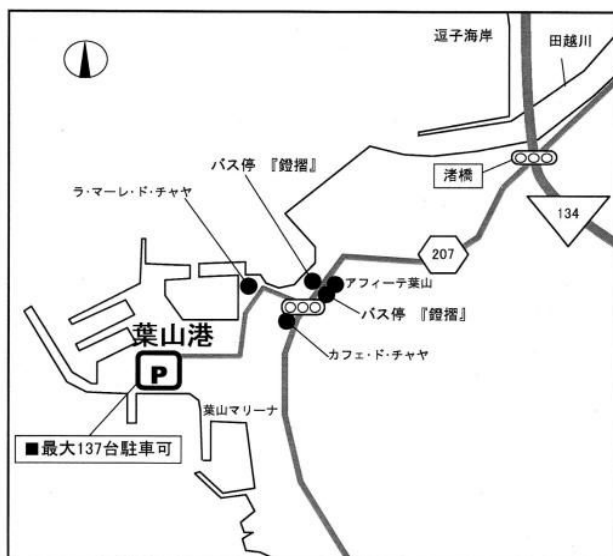
さらに詳しい情報を得るには、日本テザー協会ウェブサイトを参照してください。

日本テザー協会 <http://www.tasarjapan.org>

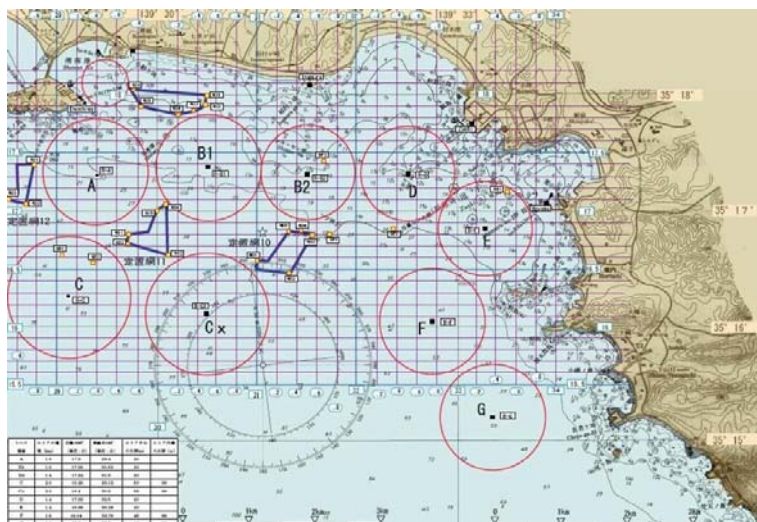
問い合わせ先：spring@tasarjapan.org (※携帯メールにリンクしているので、簡潔かつ改行は少なめにお願いします。)

添付資料A (レガッタ会場の場所)

葉山港 港湾管理事務所 (神奈川県三浦郡葉山町堀内 50 番地 TEL. 046-875-1504)



添付資料B (レースエリア)

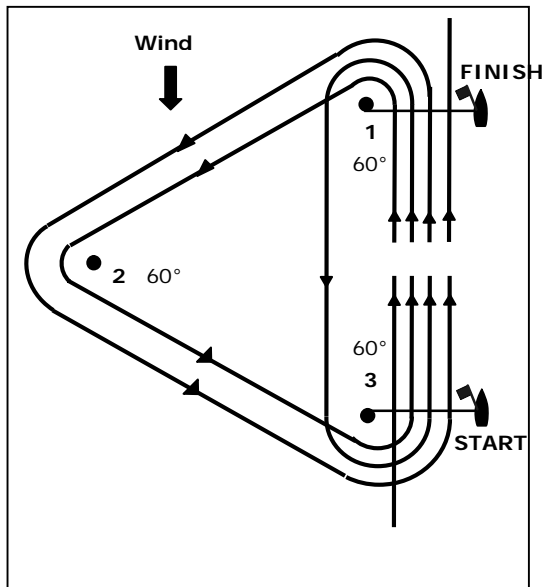


添付資料C (帆走するコース)

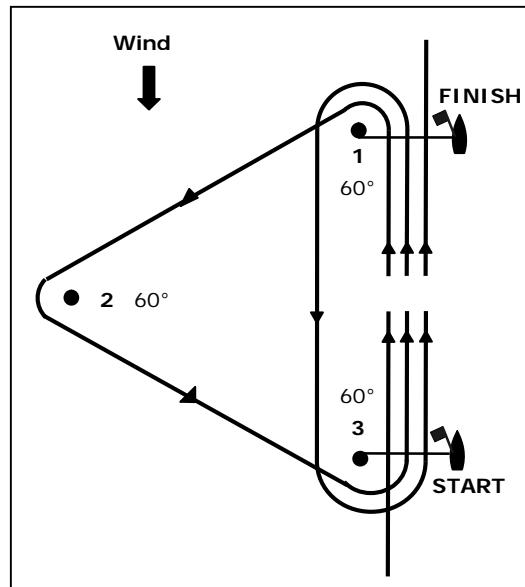
コース 1 (国際数字旗 1) スタート - 1 - 2 - 3 - 1 - 3 - 1 - 2 - 3 - フィニッシュ

コース 2 (国際数字旗 2) スタート - 1 - 2 - 3 - 1 - 3 - フィニッシュ

コース 1



コース 2



申込用紙（FAX送付先：小松 充 FAX.046-873-5589）

セール番号：_____（国籍番号/セール番号）

艇名：_____

所属フリート： 稲毛 葉山 江ノ島 浜名湖 琵琶湖
 大阪北港 芦屋 その他（_____）

艇持込みの有無： 有（予定：_____月_____日_____時）・ 無

スキッパー

スキッパー氏名：_____

（ローマ字：_____）

性別： 男 女

J T A 登録： 済 未登録

住所：_____

電話：_____

E-mail：_____

生年月日：西暦_____年_____月_____日

クルー

クルー氏名：_____

（ローマ字：_____）

性別： 男 女

J T A 登録： 済 未登録

住所：_____

電話：_____

E-mail：_____

生年月日：西暦_____年_____月_____日

私はセーリング競技規則および本大会に適用されるその他のすべての規則に従うことに同意します。

西暦_____年_____月_____日

スキッパー署名_____

ご案内

■ 関連行事の予定

- 4月24日(土) 09:40 開会式・スキッパーズミーティング (場所:葉山新港)
17:30 レセプションパーティー (場所:葉山港港湾管理事務所内)
4月25日(日) レース終了後、表彰式 (場所:葉山新港)

■ 葉山港について

- 葉山港 港湾管理事務所 (神奈川県三浦郡葉山町堀内 50 番地 TEL. 046-875-1504)
- 休港日：火曜日 (火曜日が祝日の場合は翌日)
 - シャワー・更衣ロッカーの利用時間：08:00～18:00
 - 駐車場の利用時間：05:00～22:00 (日曜日は、朝市が開催される場合があります。その場合、駐車場が早朝より混雑しますので、早めに駐車場を確保することを推奨します。)

■ 艇の搬入予定の変更

申込時に申告した艇の搬入計画に変更がある場合には、搬入する前日までにレース公示 18 項に定める問い合わせ先に新しい予定を通知してください。

■ メンバーシップについて

テザークラスルールに以下の通り定められています。

C.7 メンバーシップ

- C.7.1 少なくとも1名のクルーメンバーが世界テザークラス協会またはテザークラス規約に従って設立されたリージョン、ナショナル、ディストリクトのクラス協会の現役メンバーでなければならない。

日本のナショナルクラス協会である、日本テザー協会への入会は2010年度の協会費の納入が必要となります。(※ 参照：協会公式ホームページ <http://tasarjapan.org/>)

【協会費の納入について】

テザー協会加入の手続きならびに年会費の納入は、4月21日(水)までに銀行振込にて手続きされるようにご協力お願い致します。会員登録は、該当年度の4月から翌年の3月末日まで有効です。協会規約については、協会公式ホームページのAbout JTA をご覧ください。

- ※ 新規、継続にかかわらず、振込み前に必ずメール送信フォームでご連絡ください。
<http://tasarjapan.org/membership/registration.html>

1) 日本テザー協会年会費の振込先：

三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店 (657) 普通口座 4730210
ニホンテザーキョウカイ カイケイ ノグチマサル
(依頼人名は必ず会員本人のお名前でお振込みください)

2) 年会費 :

個人会員	5,000 円/1 年
個人 3 年会員	14,000 円/3 年
家族会員	3,000 円/1 年 (個人会員と同居する家族の方)
学生会員	3,000 円/1 年
スポット会員	1,000 円 (過去に入会実績がなく全日本を除く公式レースに1回のみ参加する方)

■ パーティー

参加料には、2 名分のパーティー参加費用が含まれています。2 名を超える場合、パーティー参加料として 3,000 円/人をお支払ください。但し、未就学児、小中学生、高校生は無償とします。

■ 当日の受付における現金の授受について

つり銭の必要がないように支払内容毎にご用意ください。つり銭が必要な場合、登録受付順番が後になる場合があります。

※ 関連項目・・・エントリー費 (レース公示 3.3 及び 4.1 参照)、持込艇施設利用料 (レース公示 4.2 参照)、パーティー費人数追加分 (前項参照)

■ 保険

各参加艇には、有効な第三者賠償責任保険に加入することを強く推奨します。保険には、下記のようなものがあります。

1) スポーツ安全保険 : <http://www.sportsanzen.org/> (2009.03.03 現在)

この保険については、JSAF の保険制度 (<http://www.jsaf.or.jp/hoken/index.htm>) において、スポーツ安全保険 (セーラース保険) とともに記載されていますが、実態は JSAF の保険制度ではなく、スポーツ安全協会の保険制度を紹介しているものです。従って、この保険が規定する団体に該当すれば、加入することができます。この保険は、加盟団体の活動のみを担保するものですので、フリートなど普段の活動においても担保される単位の団体で加入した方がより有効になると思われます。尚、和歌山ワールドの際に日本テザー協会がこの保険の加入を受け付けましたが、現時点においては、2010 年度の受付予定はありません。スポーツ安全保険に関する詳細は、上記サイトをよく参照して、ご活用ください。

2) ヨットモーターボート保険

大手損保会社が販売しています。レース中担保するかを必ずご確認ください。

■ レースエリアについて

本年 3 月 7 日に予定されている相模湾の海面調整会議の結果を受けて、レースエリアは決定されます。日本テザー協会ウェブサイトにて追加情報として公開する予定です。

■ 宿泊のご案内（2009.02.14 現在 インターネットによる調査）

この時期は、予約が混み合いますので、宿泊の予約は、お早めをお願いします。

利用方法などは、各宿泊施設に直接お問い合わせください。

- 魚藍荘 (http://www.toyaku-kenpo.or.jp/member/07_hoken/701_01_hayama.html)
三浦郡葉山町堀内976三浦郡葉山町堀内976 TEL.046-875-0101
- ホテル葉山館 (<http://www.hotel-hayamakan.jp/>)
三浦郡葉山町堀内980 TEL.046-875-5151
- 四季倶楽部 プレーゴ葉山 (<http://www.shikiresorts.com/institution/kanagawa/prego/prego.html>)
三浦郡葉山町一色2233 TEL.03-5695-3366
- 柳屋旅館
逗子市桜山9-4-16 TEL.046-871-2130
- S C A P E S (<http://www.scapes.jp/>)
三浦郡葉山町堀内922-2 TEL.046-877-5730
- 葉山ホテル音羽ノ森 (<http://www.otowanomori.jp/>)
横須賀市秋谷5596-1 TEL.046-857-0108
- 鎌倉パークホテル (www.kamakuraparkhotel.co.jp)
鎌倉市坂ノ下33-6 TEL.0467-25-5121